

平成22年度版 川を題材とした

総合的な学習の時間

活動事例集



平成23年3月

岐阜県県土整備部河川課・砂防課

岐阜県河川協会

岐阜県砂防協会

はじめに

平成12年度から始まった小中学校の「総合的な学習の時間」において、川を題材とした学習に取り組む小中学校に対し、岐阜県河川課及び砂防課では、平成14年度から支援を行ってきました。

平成22年6月には、全国で初めて河川を舞台として「第30回全国豊かな海づくり大会～ぎふ長良川大会～」を開催し、川上から川下までの森、川、海を一体とした本県の取組みを全国に発信し、水環境の保全に対する県民の意識がより一層高まったところです。

このような背景の中、平成22年度は、次代を担う子供たちにも川への関心を高めてもらうため、身近な川とふれ合う機会の提供の場として、川を題材とした「総合的な学習の時間」の拡充に積極的に取り組んできました。

なお、この冊子は、平成22年度に各土木事務所でお手伝いをさせていただいた活動事例を紹介させていただくものです。子供たちの環境学習を進められる方々に参考としていただければ幸いです。

平成23年3月

岐阜県県土整備部河川課長 堂蘭 俊多
砂防課長 鈴木 猛

目 次

はじめに

目 次

1	支援活動事例	1
1)	これまでの支援活動の経緯	1
2)	平成22年度支援活動一覧表	4
	山県市立高富小学校	6
	羽島市立小熊小学校	15
	岐阜市立長森南中学校	18
	山県市立桜尾小学校	21
	大垣市立興文中学校、大垣市立上石津中学校	25
	海津市立下多度小学校	28
	水門川の川底学習会	31
	養老町立上多度小学校	34
	池田町立八幡小学校	37
	揖斐川町立谷汲中学校	40
	大垣市立綾里小学校	42
	関市立武芸小学校	45
	関市立金竜小学校	48
	関市立上之保中学校	51
	関市立上之保小学校	53
	関市立下有知中学校	55
	関市立博愛小学校	57
	関市立富野小学校	60
	関市立安桜小学校	62
	関市立洞戸小学校	64
	美濃市立牧谷小学校	67
	美濃市立中有知小学校	71

美濃市立藍見小学校	7 4
郡上市立明宝小学校	7 6
七宗町立神淵小学校	8 1
瑞浪市立瑞浪小学校	8 4
多治見市立根本小学校	8 7
多治見市立池田小学校	8 9
恵那市立岩邑小学校	9 1
恵那市立中野方小学校	9 4
下呂市立小坂小学校	9 6
下呂市立中原小学校	9 8
下呂市立菅田小学校	1 0 0
下呂市立尾崎小学校	1 0 2
下呂市立馬瀬小学校、下呂市立馬瀬中学校	1 0 4
高山市立清見小学校	1 0 6
高山市立南小学校	1 0 8
高山市立北小学校	1 1 0
飛騨市立古川西小学校	1 1 2

2 支援窓口一覧表	1 2 1
-----------	-------

支 援 活 動 事 例

1)これまでの支援活動の経緯

岐阜県河川課では、次代を担う子供たちに川を題材として身近な環境を体感してもらい、また、私達の暮らしを守る川の役割を知ってもらうことによって、未来の地球環境や水害軽減のための取り組みのあり方を考えるパートナーを育もうと、平成14年度より、川を題材とした「総合的な学習の時間」に取り組みされている学校への支援を積極的に行ってきました。

平成13年度

岐阜県内で河川や水辺を利用した自然学習を実践している代表校の先生や関係市町村役場職員、有識者、河川管理者等で「川を利用した自然学習懇談会～教育関係者と河川管理者の実務担当者懇談会～」を開催し、自然学習の結果報告や今後の教育連携のあり方について意見交換し、課題や問題点をまとめ、今後の自然学習を広める方策を検討しました。

平成14年度

学校への支援活動は、8建設事務所、16市町村、小中学校19校、20学年、実施人数1,000余名、実施回数44回の支援を行いました。また、8月には指導者のための河川水質調査研修会、3月には「ぎふ発子供たちによる川のフォーラム2003～これでわたしも川博士～」を開催しました。

平成15年度

学校への支援活動は、10建設事務所、17市町村、小学校22校、23学年、実施人数1,110名、実施回数48回の支援を行いました。また、7月には県主催の河川環境メッセにおいて、子供たちの日頃の川に関する取り組みについてのパネル展示や、関連イベントとして、「川の自然観察会」を行いました。

平成16年度

学校への支援活動は、10建設事務所、17市町、小中学校18校、26学年、実施人数約1,700名、実施回数35回の支援を行いました。また、7月には県主催の河川環境メッセにおいて、子供たちの日頃の川に関する取り組みについてのパネル展示を行いました。

平成17年度

学校への支援活動は、11建設事務所、17市町、小中学校22校、27学年、実施人数約1,680名、実施回数35回の支援を行いました。また、7月には県主催の河川環境メッセにおいて、子供たちの日頃の川に関する取り組みについてのパネル展示や、環境学習を実施している小学校による学習発表会を行いました。

平成18年度

学校への支援活動は、10土木事務所、18市町、小中学校31校、33学年、実施人数約2,050名、実施回数39回の支援を行いました。また、7月には県主催の河川環境メッセにおいて、子供たちの日頃の川に関する取り組みについてのパネル展示や、環境学習を実施している小学校による学習発表会を行いました。

砂防課所管分も合算。

【内訳】河川課所管分 17市町、小中学校27校、29学年、実施人数約1,960名、実施回数35回

砂防課所管分 4市町、小中学校4校、4学年、実施人数約90名、実施回数4回

平成19年度

学校への支援活動は、11土木事務所、19市町、小中学校40校、46学年、実施人数約2,460名、実施回数54回の支援を行いました。また、8月～11月には県主催の自然共生パネル展において、子供たちの日頃の川に関する取り組みについてのパネル展示を行いました。

砂防課所管分も合算。

【内訳】河川砂防課合同分 6市町、小中学校9校、10学年、実施人数約860名、実施回数15回

河川課所管分 15市町、小中学校27校、32学年、実施人数約1,490名、実施回数34回

砂防課所管分 4市町、小中学校4校、4学年、実施人数約110名、実施回数5回

平成20年度

学校への支援活動は、11土木事務所、21市町、小中学校39校、41学年、実施人数約2,650名、実施回数48回の支援を行いました。

砂防課所管分も合算。

【内訳】河川課砂防課合同分 4市町、小中学校4校、4学年、実施人数約620名、実施回数9回
 河川課所管分 15市町、小中学校28校、30学年、実施人数約1,550名、実施回数32回
 砂防課所管分 6市町、小中学校7校、7学年、実施人数約300名、実施回数7回

平成21年度

学校への支援活動は、11土木事務所、20市町、小中学校46校、51学年、実施人数約2,940名、実施回数56回の支援を行いました。

砂防課所管分も合算。

【内訳】河川砂防課合同分 5市町、小中学校8校、10学年、実施人数約640名、実施回数14回
 河川課所管分 14市町、小中学校32校、30学年、実施人数約2,020名、実施回数36回
 砂防課所管分 6市町村、小中学校6校、9学年、実施人数約290名、実施回数6回

平成22年度

学校への支援活動は、11土木事務所、18市町、小中学校44校、51学年、実施人数約2,790名、実施回数59回の支援を行いました。

砂防課所管分も合算。

【内訳】河川砂防課合同分 3市、小中学校9校、18学年、実施人数約230名、実施回数8回
 河川課所管分 15市町、小中学校32校、30学年、実施人数約2,460名、実施回数47回
 砂防課所管分 4市町、小中学校4校、4学年、実施人数約110名、実施回数4回

(参考) H22 支援校一覧

山県市立 高富小学校	4 回	水門川の 川底学習会	1 回	関市立 上之保中学校	1 回	美濃市立 牧谷小学校	2 回	多治見市立 池田小学校	1 回	下呂市立 中原小学校	1 回	高山市立 北小学校	1 回
羽島市立 小熊小学校	1 回	養老町立 上多度小学校	1 回	関市立 上之保小学校	2 回	美濃市立 中有知小学校	2 回	瑞浪市立 土岐小学校	2 回	下呂市立 菅田小学校	1 回	飛騨市立 古川西小学校	7 回
岐阜市立 長森南中学校	1 回	池田町立 八幡小学校	1 回	関市立 下有知中学校	1 回	美濃市立 藍見小学校	2 回	瑞浪市立 釜戸小学校	1 回	下呂市立 尾崎小学校	1 回		
山県市立 桜尾小学校	1 回	揖斐川町立 谷汲中学校	1 回	関市立 博愛小学校	1 回	郡上市立 明宝小学校	1 回	多治見市立 市之倉小学校	1 回	下呂市立 馬瀬小学校	1 回		
大垣市立 興文中学校	1 回	大垣市立 綾里小学校	1 回	関市立 富野小学校	1 回	七宗町立 神淵小学校	2 回	恵那市立 岩邑小学校	2 回	下呂市立 馬瀬中学校	1 回		
大垣市立 上石津中学校	1 回	関市立 武芸小学校	1 回	関市立 安桜小学校	1 回	瑞浪市立 瑞浪小学校	2 回	恵那市立 中野方小学校	1 回	高山市立 清見小学校	1 回		
海津市立 下多度小学校	1 回	関市立 金竜小学校	1 回	関市立 洞戸小学校	1 回	多治見市立 根本小学校	1 回	下呂市立 小坂小学校	1 回	高山市立 南小学校	1 回		

2)平成22年度 支援活動一覧表

事務所	No.	支援校名	H21- 継続校	分類	支援内容	実施時期・対象
岐阜	1	山県市立高富小学校		治水 環境	石田川の昔と今、生物調査、水質調査、災害図上訓練	6月、9月、月・4年生
	2	羽島市立小熊小学校		治水	低地の人々の暮らし 水屋・輪中堤、水防倉庫に関する説明	11月・4年生
	3	岐阜市立長森南中学校		環境	境川の生物調査	9月・1年生
	4	山県市立桜尾小学校		砂防	砂防・土砂災害について学ぶ 土石流の模型実験、えん堤見学	11月・5年生
大垣	5	大垣市立興文中学校 大垣市立上石津中学校		環境	牧田川の生物調査	5月・1年生
	6	海津市立下多度小学校		環境	津屋川のゴミ拾いと生物調査	6月・3年生
	7	水門川の川底学習会		環境	水門川のゴミ拾いと生物調査	7月・保育園～6年生
	8	養老町立上多度小学校		砂防	砂防・土砂災害について学ぶ 土石流の模型実験、えん堤見学	10月・4年生
揖斐	9	池田町立八幡小学校		環境	杭瀬川の生物調査、水質調査	6月・4年生
	10	揖斐川町立谷汲中学校		環境	管瀬川の生物調査、水質調査	11月・1年生
	11	大垣市立綾里小学校		砂防	杭瀬川上流の生物調査、砂防ダム見学、土石流の模型実験	11月・3年生
美濃	12	関市立武芸小学校		環境	武儀川カワゲラウォッチング	7月・3年生
	13	関市立金竜小学校		環境	津保川カワゲラウォッチング	6月・4年生
	14	関市立上之保中学校		環境	津保川水質調査	6月・1年生
	15	関市立上之保小学校		環境	津保川カワゲラウォッチング、水質調査	6月、7月・4年生
	16	関市立下有知中学校		環境	寺田川の生物調査	7月・1年生
	17	関市立博愛小学校		環境	武儀川カワゲラウォッチング、水質調査	6月・5年生
	18	関市立富野小学校		環境	小野川カワゲラウォッチング	10月・5年生
	19	関市立安桜小学校		環境	関川の水質調査	7月・4年生
	20	関市立洞戸小学校		環境	板取川カワゲラウォッチング	6月・4年生
	21	美濃市立牧谷小学校		環境 砂防	板取川カワゲラウォッチング、土砂災害や対策工の紹介	5月、9月・5年生
	22	美濃市立中有知小学校		環境	小俣川カワゲラウォッチング、水質調査	6月、7月・4年生

事務所	No.	支援校名	H21- 継続校	分類	支援内容	実施時期・対象
美濃	23	美濃市立藍見小学校		環境	渡来川カワゲラウォッチング、 水質調査	6月・4年生
郡上	24	郡上市立明宝小学校		環境 砂防	砂防えん堤、魚道の役割の学習	9月・4年生
可茂	25	七宗町立神淵小学校		環境	神淵川カワゲラウォッチング 水質調査	6月・4年生
多治見	26	瑞浪市立瑞浪小学校		治水 環境	自然災害や川の施設について説明、 万尺川の生物調査	9月、10月・5年生
	27	多治見市立根本小学校		治水 環境	河川砂防施設の必要性について説明、 大原川の生物調査	10月・4年生
	28	多治見市立池田小学校		治水 環境	自然災害や川の施設について説明、 大原川の生物調査	10月・4年生
恵那	29	恵那市立岩邑小学校		治水 環境	岩村ダム見学 岩村川カワゲラウォッチング	6月、7月・4年生
	30	恵那市立中野方小学校		治水	中野方ダム見学	6月・4年生
下呂	31	下呂市立小坂小学校		環境 砂防	小坂・大洞川カワゲラウォッチング、 砂防事業説明	7月・4年生
	32	下呂市立中原小学校		環境 砂防	門和佐川カワゲラウォッチング、 砂防事業説明	7月・4年生
	33	下呂市立菅田小学校		環境 砂防	菅田川カワゲラウォッチング、 砂防事業説明	7月・5～6年生
	34	下呂市立尾崎小学校		環境 砂防	山之口川カワゲラウォッチング、 砂防事業説明	6月・4年生
	35	下呂市立馬瀬小学校 下呂市立馬瀬中学校		環境 砂防	馬瀬川カワゲラウォッチング、 砂防事業説明	7月・小学1年生 ～中学3年生
高山	36	高山市立清見小学校		環境 砂防	川上川カワゲラウォッチング、 土砂災害について説明	7月・3～4年生
	37	高山市立南小学校		環境 砂防	荅川カワゲラウォッチング、河川の 危険について説明	7月・4年生
	38	高山市立北小学校		治水 環境	宮川カワゲラウォッチング、河川の 危険について説明	7月・4年生
古川	39	飛騨市立古川西小学校		環境	宮川カワゲラウォッチング、水質調査、 ヒメシロチョウ観察	7月、9月、10月・ 4年生

報告様式

土木事務所名 (岐阜 土木事務所)

土木事務所担当者名	藤井 忠直・平田 雄一郎	内線	334
支援学校名	山県市立高富小学校	Tel.	0581-22-1066
担当教員名	東海先生、河合先生		
対象学年	4年生 67名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
22/4		[機関・団体名]	
5	5月6日(木) 高富小学校より総合学習への協力依頼		
6	6月18日(金)(11:00~12:00)、23日(水)(10:30~11:30) 学習場所:山県市立高富小学校教室 テーマ:「河川改修と環境」 学習内容: 河川改修工事の是非 石田川の昔と今 環境に配慮した河川改修	[連携内容]	
7			
8			
9			
10			
11			
12			
23/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課	氏 名	藤井忠直・平田雄一郎	内 線	334
支援校名	山県市立高富小学校	担当教員名	東海先生、河合先生	対象学年	4年生

【事例概要】

6月18日(金)(11:00~12:00)、
23日(水)(10:30~11:30)

学習場所:山県市立高富小学校教室

テーマ:「河川改修と環境」

学習内容: 河川改修工事の是非
石田川の昔と今
環境に配慮した河川改修

【工夫した点、苦労した点】

- ・毎回であるが、子どもたちにいかに分かりやすい言葉で話をするかが苦労した。
- ・学校側で事前に河川改修などの説明をしていただいたおかげで、スムーズに進めることができた。

【子供達の反応】(先生からの意見)

河川改修工事について、どのような経緯で河川改修工事が行われたかや、生き物を守りながら行われる最近の工事について知り、生き物と人間の共生の一つのありかたについて考えることができた。

【学校関係者からの意見】

水害でどのような被害があったかを子どもたちに分かりやすく話していただき、改修工事の必要性を感じることができた。また、最近では、生き物を守りながら工事が行われていることを知り、喜んでいた。洪水対策と生命の保護という二つの観点から話をしていただき、人間と生命の共生のありかたを考えることができた。

【今後の課題・課題への提案】

今後の水棲生物の調査等でも、連携を図っていきたい。
また、ハード対策による水害対策だけでなく、親子による洪水ハザードマップを活用した図上訓練などのソフト対策を実施し、防災教育へと導きたい。

【担当者として得たもの】

- ・子供達の率直な意見(河川をよくなりたい思いや人命・生活をまもるために河川工事が必要)を聞き、子供達の将来のためにも、河川工事の進め方について改めて考えさせられた。



「石田川のたんけん」
石田川の現在と昔の状況について、子供たちによる観察や長寿会へのインタビューにより把握



「石田川の昔と今」
航空写真などを使用し、昔と今の違いや、現在の環境に配慮した改修方法などをパワーポイントで説明。



「意見発表」
石田川改修工事に対する子供たちの活発な質問や意見発表。

所 属	河川砂防課	氏 名	藤井忠直・平田雄一郎	内 線	334
支援校名	山県市立高富小学校	担当教員名	東海先生、河合先生	対象学年	4年生

【総合的な学習の時間を終えた児童の感想(主なものを抜粋)】

- ・私は、人間の命も魚の命も助かってほしかったから、土木事務所の方の話を聞いて、工事をしても100パーセントじゃないけど、魚たちは助かるらしいのですごうれしかったです。河川改修工事をする前の石田川は、大雨が降ると水が家の中まで入ることがあって大変そうでした。河川改修工事をして、洪水による被害が少なくなったので、よかったです。
- ・私は、生き物がすめなくなってしまうので、河川改修工事について大反対だったけど土木事務所の方の話を聞いたら、工事をしたのもしかたがないなと思いました。
- ・改修工事やってホテルや他の生き物が少なくなっちゃったけれど、最近では魚のかくれがを作ったり、土を入れたりして生き物のことを考えているのでいいなあと思いました。
- ・私は、改修工事するのは、悪いと思ったけれど、人の命を守るために工事が行われたので、そのことはいいことだと思いました。今は、工事をするとき、生き物を引越させているので、いいと思いました。
- ・洪水による被害で、本当に苦しんでいる人がいることがよくわかりました。改修工事を行ったのは仕方がないことだと思いました。改修工事をしてもらってありがたいと思いました。
- ・お話を聞く前は、生き物が少なくなるから工事を行うことはよくないことだと思っていたけれど、改修工事は人の命を守るために行われたので、仕方がないと思いました。最近では、生き物のことを考えて工事しているのでよかったです。
- ・人の命もまもっていたし、生き物もまもっていたので、昔の石田川をよく知っているおしいちゃんやおばあちゃんに伝えたくくなりました。生き物のことも考えて工事が行われているので、うれしくなりました。
- ・僕は、魚の命を100%守れないけれど、洪水により人に被害をあたえる数が少なくなったので、河川改修工事をしてよかったですと思いました。

報告様式

土木事務所名 (岐阜 土木事務所)

土木事務所担当者名	藤井 忠直・平田 雄一郎	内線	334
支援学校名	山県市立高富小学校	Tel.	0581-22-1066
担当教員名	東海先生、河合先生		
対象学年	4年生 67名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
22/ 4		[機関・団体名] どろんこ探検隊 寺町 茂	
5			
6	6月18日(金)午前 1030 総合学習への支援依頼		
7		[連携内容] 生き物調査	
8			
9	9月15日(水)(9:00～15:00) 学習場所:石田川公園及び山県市立高富小学校理科室 テーマ:「河川環境」 学習内容: 生き物調査 水質調査 「海を育む飛山濃水・ぎふ」DVD 視聴		
10			
11			
12			
23/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課	氏 名	藤井忠直・平田雄一郎	内 線	334
支援校名	山県市立高富小学校	担当教員名	東海先生、河合先生	対象学年	4年生

【事例概要】

9月15日(水)(900～1500)
 学習場所:石田川公園及び山県市立高富小学校理科室
 テーマ:「河川環境」
 学習内容: 生き物調査
 水質調査
 「海を育む飛山濃水・ぎふ」DVD視聴

【工夫した点、苦労した点】

- ・子どもたちに石田川がどれくらい汚れているのかを他の川(長良川、武蔵川、鳥羽川、伊自良川、板屋川)と比べることで理解してもらった。
- ・生徒一人ひとりに、検査薬(パックテスト)を使用してもらい、水質を比較してもらった。

【子供達の反応】(先生からの意見)

- ・石田川のCODと、他の5つの河川のCODを比較することで、校区を流れる石田川が、他の河川と比べて汚れていることに気付くことができた。
- ・COD値から、石田川にアユ、イワナなどの魚がすめない理由を理解することができた。
- ・一人一人が、実際にCOD値の測定をすることで、河川の水質に興味を持ち、熱心に調査することができた。

【学校関係者からの意見】

- ・CODパックテストの試薬を、1人2つ準備していただいたことで、興味を持ち意欲的に調査することができた。また、測定方法も丁寧に教えていただき、すべての児童が正しい方法でCOD値を測定することができた。
- ・6つの河川の水を準備していただき、石田川しか知らなかった子どもたちが、他の河川のCOD値と比較して、石田川の水質を調べることができた。
- ・生き物調査では、生き物の捕まえ方、道具の貸与、後片付けなど協力をしていただきありがたかった。

【今後の課題・課題への提案】

石田川の自然環境を守るためには、これからの子どもたちに現状を知ってもらい、これからどうして行くべきなのかを考えてもらうためにも、継続的に実施していくことが重要と考える。できれば、地域の大人たちも一緒にできれば、いいと考えている。

【担当者として得たもの】

- ・石田川の水質について、他の河川との比較によって、子供たちとともに確認することができた。
- ・子供たちと一緒に、きれいな川、きたない川に棲む生物を学び、石田川の現状を把握することが出来た。



石田川での生き物調査(主に魚類)



生徒一人一人が、石田川の水を検査薬(パックテスト)を用いて調査。



石田川の水質は、長良川など他の河川と比べてどうだったか、結果発表。

報告様式

土木事務所名 (岐阜 土木事務所)

所 属	河川砂防課	氏 名	伊藤篤	内 線	334
支援校名	山県市立高富小学校	担当教員名	東海先生、河合先生	対象学年	4年生

【総合的な学習の時間を終えた児童の感想(主なものを抜粋)】

- ・CODの実験をして、石田川が一番よごれているとわかりました。それに比べて、長良川が一番きれいだとわかりました。魚のために、ジュースを飲んだあとはのこっていないかたしかめたりして石田川をもっときれいにしていきたいと思います。石田川をもっときれいにし、CODを2~4ぐらいにしたいです。
- ・わたしは、石田川が一番きれいだと思っていたらはずれていました。すごくびっくりでした。石田川が一番汚いのでゴミを見つけたらすぐにゴミをひろったりしたいです。
- ・わたしも石田川がきたなくならないように、飲みのこしはやめようと思いました。家族にも言って石田川が一番きたなくならないように気をつけます。

報告様式

土木事務所名 (岐阜 土木事務所)

土木事務所担当者名	藤井 忠直・奥田 克彦	内線	334・332
支援学校名	山県市立高富小学校	Tel.	0581-22-1066
担当教員名	東海先生、河合先生		
対象学年	4年生 67名及び保護者 80名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
22/ 4		[機関・団体名] 山県市役所総務課	
5			
6	6月23日(水)午前 1030		
7	(土木) 災害図上訓練について説明。親子でやりたい。 (学校)「授業参観の時に、開催が可能である。」	[連携内容] 洪水ハザードマップ、土砂災害ハザードマップ 当日準備(付箋等の事務用品)	
8			
9			
10	10月5日(火)(16:15～17:15) 事前打ち合わせ:趣旨説明 10月12日(火)(16:15～17:15) 事前打ち合わせ:当日資料案 10月20日(水)(16:15～17:15) 事前打ち合わせ:地図の見本		
11	11月2日(火)(16:15～17:15) 事前打ち合わせ:会場下見及び機器調整 11月7日(日)(8:30～9:25) 学習場所:山県市立高富小学校体育館 テーマ:「災害図上訓練(DIG)」 学習内容: ハザードマップについて 避難時の準備 避難時の注意点		
12			
23/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課	氏 名	藤井忠直・奥田克彦	内 線	334・332
支援校名	山県市立高富小学校	担当教員名	東海先生、河合先生	対象学年	4年生

【事例概要】

11月7日(日)(8:30～9:25)
 学習場所:山県市立高富小学校体育館
 テーマ:「災害図上訓練」
 学習内容: ハザードマップについて
 避難時の準備
 避難時の注意点

【工夫した点、苦労した点】

- ・制限時間内に図上訓練を終わらせるために、地図に予め着色した。
- ・子どもたちが地図を読み取れるか不安なため、付近の写真を地図に貼り、分かりやすいようにした。
- ・子供だけでなく、父兄をいかに参加させ、一緒に考えてもらうか。あるグループでは、親がリーダーとなり、子供たち、父兄の意見をまとめていた。

【子供達の反応】(先生からの意見)

- ・自分の家、通学路、浸水想定区域を地図上で確認することで、災害時にどこを通過して避難するのが安全であるかを考えることができた。
- ・避難について、保護者に頼るだけでなく、小学生なりに準備できること、気をつけるとよいことを考えることができた。

【学校関係者からの意見】

- ・地区ごとに親子で集まり、危険場所、避難場所への経路、浸水想定区域の確認をしたことで、災害時にどのようなことに気をつけたらよいかに気付くことができた。
- ・災害時に備えてどんなものを準備したらよいか、親子で確認し、防災への意識を高めることができた。

【今後の課題・課題への提案】

- ・子供をいかに飽きさせずに図上訓練に参加させるか。
- ・親と子が一緒に参加して、災害時の対応を勉強してもらうか。
- ・新しく越してきた人が、地域特有の問題(もともと浸水する箇所)を共有できるか。

【担当者として得たもの】

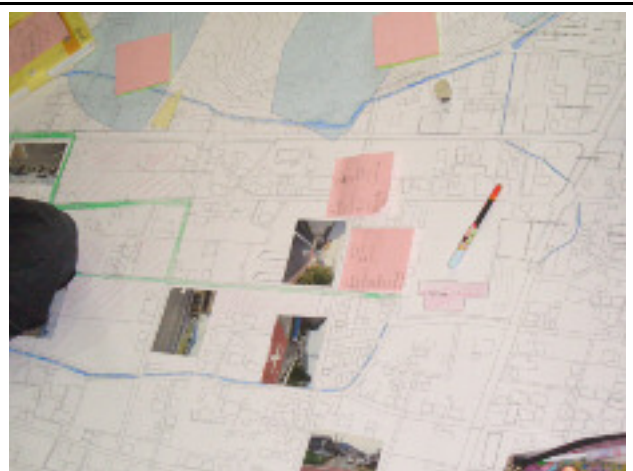
・学校では防災教育に力を入れたいが、情報不足もあり資料(大判の図面)などが作成できずに、困っていること。一方、県、市では学校に対し防災をテーマにいろいろ情報提供したいこと。今回、お互いの目指すべき方向が一致したため実現できた。担当者として、この図上訓練が少しでも災害時に役立てればと思っている。



避難経路の防災資源や川などの危険箇所を着色している様子



避難時の持ち物や注意点をグループごとに話し合っている様子。



自分たちで着色した地図にグループで話し合った意見を付箋で貼った様子。

所 属	河川砂防課	氏 名	藤井忠直・奥田克彦	内 線	334
支援校名	山県市立高富小学校	担当教員名	東海先生、河合先生	対象学年	4年生

【総合的な学習の時間を終えた児童の感想(主なものを抜粋)】

- ・今日、防災についての授業を受けて、もしも土砂崩れや洪水が起こった時に、どうすればいいのかがよくわかりました。授業を受ける前、洪水が起きた時は、長靴で逃げたほうがいいと思っていたけど、長靴をはくと逆に水が入って、重くなるから運動靴の方がいいと聞いて、すごくびっくりしました。それから、洪水や土砂崩れが起きた時に、どこに逃げればよいかもよくわかりました。だから、もしも土砂崩れや洪水が起きた時に、今日勉強したことをいかして、安全に避難したいです。
- ・ぼくたちの通学路には、たくさん危険な場所があるということが今日の授業でわかりました。災害の時には、今日勉強した危険なことは、さげたいと思いました。また、避難する時には、大切なものを用意して非難したいです。あと、もしも災害にあっている人がいたら、ロープを使って、助けてあげたいです。
- ・今日、防災の勉強をして、まず感心したことは、「避難してください」と言われたら、何を持って逃げたらいいのかという質問に対して、食べ物やヘルメット、カッパなどの意見が出ました。その意見のほとんどが、生活でいつも使っている物だということがわかりました。それに、どこに避難したらよいかということもわかりました。高いビルやアパートが一番いい場所だったので、もし、洪水があつたらそういう場所にすばやく避難したいです。また、つえやかさ、棒を先頭に歩く人が持って、危ないものはないか探るとよいかも教えてもらいました。洪水が起きたら、どのようなことをすればよいか分かったので、もしもの時は、あせらず落ち着いて動きたいです。
- ・今日は、防災の授業で、土砂崩れがあつて危険な所や、浸水が予想される所をチェックした時に、こわいなあと感じました。わたしは、通学路を緑、学校を赤、川を青で塗ることが楽しかったし、楽しみながら防災の授業を受けることができたのでよかったです。地区の子たちとも、もしも土砂崩れや洪水が起きた時のことを考えて、避難場所はどこか、避難場所に行くまでに通る安全な場所を確かめることができ、うれしかったです。これからは、いろいろなことに気をつけて、たまには、もしものことを考えたいです。
- ・僕は、最初、防災の授業では、どこが危険かを調べるだけかと思ったけれど、土砂崩れや、洪水の時には、どんなことに気をつけたらよいかがよくわかりました。(洪水の時は、長靴はダメ、逃げ遅れた時は、高い所へ登る、一人で避難所に行かない。)今日は、お父さんしか来てないから、お母さん、おばあちゃんにも伝えたら役立つと思う。ぼくの家の前には、川があるので、もしもの時は、遠回りをして逃げ、棒で前を探ることも大切であることもわかりました。また、災害の状況によっても、使う物や避難の仕方がいろいろ違ってくこともわかりました。
- ・私の地区は山本です。山本は石田川をわたらないと学校に行けません。だから、洪水の時には、上り坂がある所を通ったらよいのではないかと相談しました。なぜ上り坂がよいかというと、上り坂は水が上ってこないからです。また、山は危ない、川の近くも危ないと相談しました。もし、洪水が起きたら、どんな道具が役立つか、どんなものを準備したらよいかも相談しました。懐中電灯、ラジオ、食べ物、服、飲み物などいろいろな意見が出てきました。その中で、一番大切なものは何かを決めました。そうしたら、救急箱、服、食べ物、飲み物になりました。洪水が起きたら、けがをするかもしれないからです。山本地区は、高富中学校が避難場所でした。高富中学校への避難する道も相談しました。
- ・もしも川の水があふれたら、わたしは、家のまわりが全部川なので、なるべく川には近寄らないことが大切だと思いました。石田川、鳥羽川が近くにあるので、わたしの家は危ないなあと感じました。通学する時には、川の近くを通り、橋を渡っています。もしも、洪水になったら本当にこわいなあと感じました。もしもの時のために集まる場所を決めました。集まる場所は、中央図書館です。また、今日勉強したものを用意して避難したいです。

土木事務所担当者名	石井伸吾・鈴木章弘	内線	337
支援学校名	羽島市立小熊小学校	Tel.	058-391-3059
担当教員名	田中先生		
対象学年	4年生 42名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
22/4	小熊小学校から電話にて支援依頼	[機関・団体名] ・水屋所有者(近藤氏) ・ふるさと先生(大野氏) ・羽島市役所	
10	10月6日(水)実施内容打合せ 学校との実施目的確認、内容の概略打合せ	・国土交通省木曾川上流河川事務所	
	当日まで 水屋所有者、ふるさと先生、羽島市、 国土交通省へ電話にて協力依頼	[連携内容] 近藤氏 ・水屋など、昔の水害防止 対策についての説明 大野氏	
11	11月18日(木)体験学習の実施 学習場所:羽島市足近町地内(近藤邸水屋)ほか テーマ:「低地の人々のくらしを守る施設を調べよう」 水屋の見学 ・水害から村を守る取り組みについて説明 旧輪中堤の見学 ・輪中の役割について説明 排水機場(逆川排水機場)の見学 ・排水機場の概要、沿革について説明 水防倉庫(羽島市小熊町地内)の見学 ・水防団の役割、水防道具等の説明 排水機場(境川排水機場)の見学 ・排水機場の施設内容および効果について説明、見学 ・排水機場の模型を使用して仕組みを説明	・輪中の役割、逆川排水機 場の効果について説明 羽島市役所 ・水防団の役割、水防活動 時に使用する用具類の 説明 国土交通省 ・境川排水機場の役割につ いて説明 岐阜土木 ・境川排水機場の仕組み について模型により説明	

所 属	河川砂防課 河川第二担当	氏 名	石井伸吾・鈴木章弘	内 線	337
支援校名	羽島市小熊小学校	担当教員名	田中先生	対象学年	4年生

【事例概要】

学習場所:羽島市足近町地内(近藤邸水屋)ほか
 テーマ:「低地の人々のくらしを守る施設を調べよう」
 水屋の見学:水害から村を守る取り組みについて説明
 旧輪中堤の見学:輪中の役割について説明
 排水機場(逆川排水機場)の見学:排水機場の概要、沿革について説明
 水防倉庫(羽島市小熊町地内)の見学:水防団の役割、水防道具等の説明
 排水機場(境川排水機場)の見学:排水機場の施設内容および効果について説明の後、模型を使用して実験



【工夫した点、苦労した点】

学習場所の選定に際し、子供達の関心を高められるよう、できるだけ身近である小熊小学校区内にあるものを見学するよう考慮した。また、説明者は地元在住で子供達になじみの深い「ふるさと先生」を主とした。

《水屋の見学》

昔の人々の水害から身を守る取り組みについて学んだ。

【子供達の反応】

輪中の学習をした後に実際に見学することができ、とても興味を持ってのぞむことができた。水屋や排水機場が身近にあることに、大変驚いていた。また、昔から、水害から身を守るために、いろいろな工夫をして生活していたということを改めて知ることができた。



【学校関係者からの意見】

実際に、水屋や排水機場を見学させていただくことができ、大変有意義な学習となった。また、説明して下さる方々も、子どもたちにわかりやすく、丁寧に説明していただき、子どもたちも興味を持って学習にのぞむことができた。

《境川排水機場の見学》

排水機場を見学して効果を学んだ。

【今後の課題・課題への提案】

ふるさと先生に頼ることが多い内容のため、説明者の人材確保等が課題となる。



【担当者として得たもの】

生徒たちにとって、普段目にすることができない施設を見学することができ、高い関心を得られた。
 模型実験の際、生徒たちに操作させることにより、より理解が深まったと感じられた。

《境川排水機場の見学》

模型を使用して排水機場の仕組みを学んだ。

所 属	河川砂防課 河川第二担当	氏 名	石井伸吾・鈴木章弘	内 線	337
支援校名	羽島市立小熊小学校	担当教員名	田中先生	対象学年	4年生

【新聞記事等】



〔岐阜土木の〕
総合学習支援

小熊小4年生42人が
排水機場の働き学ぶ

岐阜県岐阜土木事務所 度から小中学校で総合学習は18日、羽島市立小熊小 習の支援を行ってきた。学校の4年生42人を対象 今回は、同事務所河川砂に総合学習支援を行った。 防課の石井伸吾技術課長 補佐らが講師となり、境 同事務所は2001年 川排水機場で排水機場の

模型を使って排水機場の働きを児童に教えた。写真。児童らは、模型実験で、シヨウロで雨を降らせて、川の水かさの増える状況、家や畑が浸水する様子を見たり、排水機の働きで浸水被害が軽減される様子をしっかりと観察しワークシートに書きつづった。

平成 22 年 11 月 24 日(水) 建通新聞 岐阜版

報告様式

土木事務所名 (岐阜 土木事務所)

土木事務所担当者名	石井伸吾・中田恵介	内線	336
支援学校名	長森南中学校	Tel.	058-382-2109
担当教員名	日置先生		
対象学年	1年生4クラス 128名のうち2クラス 64名		
年月	タイムテーブル		学校以外の連携機関
22/8	NPO小林氏来所 総合学習支援依頼		【機関・団体名】 NPO法人e-plus生涯学習研究所
9	長森南中学校にて小林氏、先生と支援内容の打合せ ・学習内容の確認 ・現地立ち会い(学習場所、学習手順、安全確認等) ハシゴ設置、草刈り等進入路確保 9月27日(月)総合学習「生き物調査隊」 14:15～15:30 学習場所:境川(岐阜市高田地内) 今回のテーマ:「水生生物調査」 事前説明 魚の捕獲 魚の種分け、記録		【連携内容】 (資材支援) 岐阜振興局環境課 タモ網

所 属	河川砂防課 河川第二担当	氏 名	石井伸吾・中田恵介	内 線	336
支援校名	長森南中学校	担当教員名	日置先生	対象学年	1年生

【事例概要】

9月27日(月) 14:15～15:30
 総合学習「生き物調査隊」
 学習場所:境川(岐阜市高田地内)
 今回のテーマ:「水生生物調査」

事前説明
 魚の捕獲
 魚の種分け、記録

【工夫した点、苦労した点】

- ・ 捕まえた生き物の名前を調べられるように、資料を用意した。
- ・ 生徒たちが安全に川に降りられるように、ハシゴ設置、除草を行った。
- ・ 上流のゲート操作を行い調査地点の水位を下げた。

【子供達の反応】

- ・ 地域の川に普段入ることがなく、水生生物を知る機会がないため、体験ができて非常に喜んでいました。
- ・ 多くの水生生物を確認することができ、「良い地域に住んでいるなー。」という思いを持つことができた。
- ・ この自然を残していきたいという思いを持つことができた。

【学校関係者からの意見】

- ・ 水位が高かったが、学習時に水位を下げてくださいありがたかった。
- ・ 梯子の準備や草刈りをしていただき助かった。

【今後の課題・課題への提案】

- ・ 観察用プラスチックケースやエアープンプの数が少なく各グループへ行き渡らなかったため今後は検討(購入、借用等)が必要。
- ・ 昨年度に引き続き総合学習を実施しているが、川へ降りられる場所がないため、今後も総合学習が行われるようであれば階段等の設置を検討してはどうか。

【担当者として得たもの】

境川には多種多様な生物が生息しており、改修等における環境保全の必要性について再認識した。



事前説明

ガサガサのやり方、川に入る際の注意事項等の説明を行いました。



魚類捕獲

生徒と一緒に調査を行いました。



魚の種分け、記録

みんなで捕まえた生き物を種類ごとに分け、名前と数を調べました。

所 属	河川砂防課 河川第二担当	氏 名	石井伸吾・中田恵介	内 線	336
支援校名	長森南中学校	担当教員名	日置先生	対象学年	1年生

【新聞記事等】

岐阜市切通の長森南中学校1年生約120人は27日、同校近くの境川で環境学習を実施した。身近な自然の調査を通じて生徒らは森・川・海のつながりや

身近な川、美しさ確認

岐阜市境川で生物調査

境川の水生生物を採取する生徒ら一岐阜市高田



岐阜市切通の長森南中学校1年生約120人は27日、同校近くの境川で環境学習を実施した。身近な自然の調査を通じて生徒らは森・川・海のつながりや

今年5月、5月に郡上市の長良川で水質調査を実施。10月には各務原市川島地区で水質調査を実施し、上下流の水質の相関を調べる。また、年末からは地球温暖化防止にも目を向け、

この日は、学校近くの境川の水生生物調査が行われ、生徒らがドロウやオイカワなどを捕まえ、校区内の境川の水質が比較的良好なことを確かめた。

(瀬見洋秀 撮影)

平成 22 年 9 月 29 日(水) 岐阜新聞 県内版

報告様式

土木事務所名 (岐阜 土木事務所)

土木事務所担当者名	堀 利行	内線	333
支援学校名	山県市立桜尾小学校	Tel.	0581-27-2101
担当教員名	村橋教頭先生(北洞先生、大原先生)		
対象学年	5年生 11名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
22/ 4		[機関・団体名] 越美山系砂防事務所	
5		[連携内容] 土石流実験模型装置の借用	
6			
7			
8	8月31日(火)(14:00~15:00) 事前打ち合わせ:主旨説明、学習時間数調整		
9			
10	10月20日(水)(10:00~11:00) 事前打ち合わせ:当日資料案確認		
11	11月1日(月)(9:00~12:00) 学習場所:山県市立桜尾小学校(屋内学習) 山県市葛原 砂防工事 八月洞(現場見学) テーマ「砂防ってなあに？」 9:00~ 砂防の種類について(動画含む) 9:30~ 土石流模型実験 9:45~ 現場見学へバス移動(砂防クイズ) 10:15~ 現場見学 10:45~ バス移動で小学校へ 11:15~ 学習のまとめ、感想発表 学習内容: 土砂災害の種類について 砂防えん堤の効果について(模型実験) 砂防えん堤現場見学 (工事規模、工事費を学ぶ)		
12			
23/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課	氏 名	堀 利行	内 線	333
支援校名	山県市桜尾小学校	担当教員名	村橋教頭先生	対象学年	5年生

【事例概要】

日時:11月1日(月)900~1200

場所:桜尾小学校、八月洞砂防工事現場見学

内容:砂防ってなあに?

(講義30分+模型実験15分+現場見学30分)

対象の5年生は「流れる水のはたらき」をテーマに総合学習を実施しており、本事例はその一部として理科の時間と総合学習の時間を利用し、砂防施設の役割と効果を理解してもらおうことを目的とした。



【工夫した点、苦労した点】

- ・ 臨場感が湧くよう土砂災害のビデオにより、どのような被害が発生するかを解説した。
- ・ 砂防えん堤の効果を知るため、土石流実験模型装置を使用し、砂防えん堤の有無による効果の差を説明した。
- ・ 現場見学までの間に子供たちが飽きないようにバス内で「砂防クイズ」を実施した。
- ・ 受注者(現場代理人)に現場での苦労話をしてもらい、砂防えん堤を完成させるまでの「仕事の大変さ」を知ってもらった。

<砂防施設の役割について説明>

桜尾小学校の砂防施設や、実際の土砂災害時のビデオ動画により施設の役割を説明

【子供達の反応】(先生からの意見)

ゆっくりと分かりやすい言葉で、にこやかに話され、子どもたちは分かりやすさとともに親しみを覚えていた。



【学校関係者からの意見】

本学習は、防災上の観点からも子どもたちへの教育には非常に適している。市の校長・教頭会でも本総合学習を紹介し、広げていこう働きかけていきたい。

<模型実験>

えん堤や流路工を備えた模型実験により、砂防えん堤の有無による被害の違いを説明

【今後の課題・課題への提案】

今回は、現場見学もあり時間の制約から子どもたちの発言の機会を設けることや、学習した内容の総まとめをする時間を作ることが出来なかった。

今後は時間管理を心がけていきたい。



【担当者として得たもの】

総合学習から1ヶ月半程度経った後、担当した子どもたちと偶然出会った。その際、子どもたちが「砂防えん堤!!」と元気よく言ってくれた。しっかり覚えていてくれていることに感激しました。

<現地見学>

実際に建設中の砂防えん堤を目の当たりにすることで、規模や費用について説明

所 属	河川砂防課	氏 名	堀 利行	内 線	333
支援校名	山県市立桜尾小学校	担当教員名	村橋教頭先生	対象学年	5年生

【総合的な学習の時間を終えた児童の感想(主なものを抜粋)】

建通新聞 平成22年11月4日(木曜日) 第1面

「砂防ってなあに？」。土砂災害の恐ろしさや砂防堰堤の必要性、働きなどを知ってもらおうと岐阜県岐阜土木事務所は1日、山県市立桜尾小学校の5年生を対象にした総合学習を開催した。同事務所は2001年度から岐阜地域の小中学校で総合学習の支援を行っている。河川砂防課の堀利行主任技

「砂防ってなあに？」

岐阜土木が小学生の総合学習

師が講師となつて、高山市で発生した土石流(動画)、模型を使った砂防堰堤の働きや効果などを講義した後、山県市葛原八月で工事中の現場を見学した。児童たちは、模型実験で砂防堰堤の効果や土石流、がけ崩れの動画に驚きながら、しっかりと観察し学習ノートに書きつづっていた。



報告様式

土木事務所名 (大垣 土木事務所)

土木事務所担当者名	藤原 雅司	内線	372
支援学校名	興文中学校、上石津中学校	Tel.	0584-78-3068
担当教員名	興文中学校 上野先生、上石津中学校 三宅先生		
対象学年	興文中学校1年生47名 上石津中学校1年生29名		
年月	タイムテーブル		学校以外の連携機関
22/4	4月28日(水) 上石津中学校及び実施予定箇所にて学習内容の詳細打合せ(学習場所、学習手順、安全確認等)		[機関・団体名] NPO 法人生涯学習研究所 大垣市環境衛生課 [連携内容] ・安全管理 ・各班の指導
5	5月21日(金) 野外学習 9:20~11:20 学習場所:牧田川(一之瀬大橋付近) テーマ「大垣の水」 川にすむ生き物を見つけよう 生き物の種類分け、観察 講評		
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
23/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川担当	氏 名	藤原 雅司	内 線	372
支援校名	興文中学校、上石津中学校	担当教員名	上野先生 三宅先生	対象学年	1年生

【事例概要】

5月21日(金) 9:20～11:20 野外学習

学習場所:牧田川

テーマ「大垣の水」

川にすむ生き物を見つけよう!

生き物の種類分け、観察

講評

【工夫した点、苦労した点】

- ・ 牧田川と赤尾川の2箇所で開催し、それぞれの河川で捕れる生物を比較することにした。生徒も2班に分かれ、牧田川を岐阜県、赤尾川を大垣市が担当した。
- ・ 2校が交流できる班分けを行った。
- ・ 進入路の確保のため除草を行った。
- ・ 流れが速く、深みもあるので、エリア指定は慎重に行った。

【子供達の反応】

- ・ 興文中学校の生徒は市街地では味わえない自然豊かな牧田川に接することができ喜んでいました。
- ・ 流れが速く捕獲するのに苦闘していました。
- ・ ヤマリンが駆けつけてくれて、生徒達は大喜びだった。

【学校関係者からの意見】

- ・ 市街地の学校では、このように自然豊かな川に接する機会もすくないのでありがたい。
- ・ たくさんのスタッフの体制で、安全面に非常に気を使って頂きありがたく思う。

【今後の課題・課題への提案】

- ・ 中学校の生徒でもヤマリンは大人気だったので、着ぐるみはあった方がよい。
- ・ 生物の同定ができるスタッフが少なく、個々のスキルアップが必要と考える。

【担当者として得たもの】

- ・ 中学生でも、川に興味を持ってもらうには遅くないと思った。子供達のために、市街地でもきれいな水環境を提供して行かなくてはならないと感じた。



川にすむ生き物を見つけよう
興文中学校の生徒と上石津中学校の生徒の合同で開催しました。



川にすむ生き物を見つけよう
清流に住むとされるカワゲラを見つけることができました。



生き物の種類分け
みつけた生き物を種類ごとにわけて、どんな生き物がいたか調べました。

所 属	河川砂防課 河川担当	氏 名	藤原 雅司	内 線	372
支援校名	興文中学校、上石津中学校	担当教員名	上野先生、三宅先生	対象学年	1年生

【新聞記事等】

聞

2010年(平成22年)5月25日



カワゲラいたぞ

上石津中と
興文中生徒

一緒に水生生物調査

大 垣

大垣市上石津町の牧瀬と、同川支流の水生計149人。環境の田川と藤吉川で、カワゲラウオツチンクがあり、同市の2中学校の生徒が協力してカワゲラなどの水生生物を捕獲する調査を行った。参加したのは、牧田川上流域にある上石津中学校(上石津町一之瀬)と、興文中学校(上石津町一之瀬、牧田川)

と、同川支流の水生計149人。環境の田川と藤吉川で、カワゲラウオツチンクがあり、同市の2中学校の生徒が協力してカワゲラなどの水生生物を捕獲する調査を行った。参加したのは、牧田川上流域にある上石津中学校(上石津町一之瀬)と、興文中学校(上石津町一之瀬、牧田川)

で、学びの網を広げようと行われた。調査は両校生徒が2グループに分かれ、上石津町一之瀬、牧田川の二之瀬大橋付近と、同川支流で同町牧田、藤吉川の萩原橋付近で行われた。生徒らは、川底の石を持ち上げた水草の隙に網を入れ、清流にすむとされる指標生物のカワゲラやトビケラなどを多く捕獲した。参加した生徒は「きれいな水を守っていきなよう、活動していきないな」と話していた。(中村若紀)

平成 22 年 5 月 25 日(火) 岐阜新聞 14 面 西濃地域版

報告様式

土木事務所名 (大垣 土木事務所)

土木事務所担当者名	藤原 雅司	内線	372
支援学校名	海津市立下多度小学校	Tel.	0584-57-2109
担当教員名	小野先生		
対象学年	3年生 16名		
年月	タイムテーブル		学校以外の連携機関
22/4			[機関・団体名] 海津市役所建設課
5	5月26日(水) 下多度小学校及び実施予定箇所にて学習内容の詳細打合せ(学習場所、学習手順、安全確認等)		[連携内容] 海津市役所 ・除草 ・安全管理 ・各班の指導
6	6月3日(木) 野外学習 8:30~11:20 学習場所:津屋川(志津橋付近) テーマ「川にすむ生き物を見つけよう」 川のお話 川の姿を観察しよう 川にすむ生き物を見つけよう 川に感謝しよう(ゴミ拾い) 生き物の種類分け 子供たちによる発表		
7			
8			
9			
10			
11			
12			
23/1			
2			
3			

所属	河川砂防課 河川担当	氏名	藤原 雅司	内線	372
支援校名	海津市立下多度小学校	担当教員名	小野先生	対象学年	3年生

【事例概要】

6月3日(木) 8:30~11:20 野外学習

学習場所:津屋川

テーマ「川にすむ生き物を見つけよう」

川のお話

川の姿を観察しよう

川にすむ生き物を見つけよう！

川に感謝しよう(ゴミ拾い)

生き物の種類分け

子供たちによる発表

【工夫した点、苦労した点】

- ・ 学校からの徒歩での道中に川のお話をした。
- ・ 進入路の確保のため除草を行った。
- ・ 各班に指導者を付け、安全管理に努めた。

【子供達の反応】

- ・ 津屋川で有名なハリヨを捕まえることができ喜んでいました。
- ・ 身近な津屋川をもっときれいにしたいという意見が多かった。
- ・ ヤマリンが駆けつけてくれて、子供達は大喜びだった。

【学校関係者からの意見】

- ・ 会場までの徒歩での道中に津屋川についてのお話をしていたが、非常に子供達も津屋川に関心を持つことができたと思う。
- ・ たくさんのスタッフの体制で、安全面に非常に気を使って頂きありがたく思う。

【今後の課題・課題への提案】

- ・ 例年東江小学校と同時開催していたが、今年は調整がつかずそれぞれ単独開催することとしていたが、6月後半予定の東江小学校の開催は、水位の関係で中止となってしまった。津屋川については、6月上旬までに開催するようにすべき。
- ・ 生物の同定ができるスタッフが少なく、個々のスキルアップが必要と考える。

【担当者として得たもの】

- ・ 子供たちは、潜在的に川が大好きなんだと思う。親水環境は重要だと思った。



川にすむ生き物を見つけよう

ハリヨ、スナヤツメ、シマドジョウ、ヨシノボリ、ドンコなどを見付けました。



川に感謝しよう

ビン、ビニール袋などたくさんのゴミを拾いました。



生き物の種類分け

みつけた生き物を種類ごとにわけて、津屋川にどんな生き物がいたか調べました。

所属	河川砂防課 河川担当	氏名	藤原 雅司	内線	372
支援校名	海津市立下多度小学校	担当教員名	小野先生	対象学年	3年生

【新聞記事等】



捕獲した水生生物を観察する児童—海津市南濃町志津、津屋川石岸

水生生物捕獲 児童が学習
海津市の津屋川

身近な水生生物を調べる自然学習会が3日、海津市南濃町志津の津屋川で開かれ、地元の下多度小学校(同町津屋)の3年生16人が、生き物の種類や特徴を学んだ。

同校の総合的な学習の取り組みで、大垣土木事務所が協力。NPO法人森と水辺の技術研究会の高橋芳春さん(58)が指導した。児童は津屋川に入っ

て水生生物を捕獲し、種類分けをした。ヤゴやカワニナ、ドンコ、カワヨシノボリなど約10種類が確認され、異種のスナヤツメ、外来種のアメリカザリガニもいた。

海から上ってきたウナギやスズキの稚魚も見つかり、高橋さんは「海と川はつながっているね。だから川を汚しちゃいけない」と呼び掛けた。参加した足立優沙さん(8)は「身近にすんでいる生き物が分かった」と興味深そうに観察していた。(小西里奈)

平成 22 年 6 月 4 日(金) 岐阜新聞 20 面 西濃地域版



川に入り、生き物を捕まえる児童たち—海津市の津屋川で

津屋川で児童ら 生き物など調査
海津市下多度小

海津市下多度小学校の3年生十六人が三日、総合学習で同市の津屋川を訪れ、川で生息する生き物を捕まえて観察した。

児童は志津橋付近で網を手に川へ入り、大喜びで声を上げながら生き物をすくい、ごみも拾った。NPO法人「森と水辺の技術研究会」の高橋芳春さん(岐阜市)の指導で、

気温や水温をワークシートに記した後、ザリガニやヤゴ、ドジョウ、スズキ、ドンコ、カワニナなどを手でつかんで分類。ハリヨやヨシノボリも確認した。

足立優沙さん(8)は「空き缶やビンが捨てられていたのは残念。でも生き物をたくさん捕まえることができ、よかった」と話した。観察会は大垣土木事務所の協力で実施した。(松瀬晴行)

平成 22 年 6 月 4 日(金) 中日新聞 18 面 西濃版

報告様式

土木事務所名 (大垣 土木事務所)

土木事務所担当者名	藤原 雅司	内線	372
支援学校名	水門川の川底学習会	Tel.	0584-73-1111
担当教員名	主催:大垣土木事務所、共催:水門川クリーン作戦実行委員会		
対象学年	水門川周辺の保育園～小学6年生 87名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
22/4		[機関・団体名] 水門川クリーン作戦実行委員会	
5		[連携内容]	
6	6月24日(木) 実行委員会立ち上げ、前年の反省 チラシ、ポスター等広報活動について	市民グループによる水門川クリーン作戦の一環	
7	7月2日(木) 実行委員会との「清掃範囲」打合せ 「宣伝チラシ」打合せ 7月8日(木) 実行委員会との現地チェック 7月22日(木) 現地チェックの結果について等最終確認 7月31日(土) 野外学習 8:00～9:45 学習場所:水門川(新大橋東～貴船神社) テーマ「第9回 水門川クリーン作戦 ～ 水門川の川底学習会 ～」 水門川にどんな生き物がすんでいるかな? 水門川クリーン作戦(ゴミ拾い) 水門川にどんな生き物がすんでいたかな? 結果発表会(発表及び感想)		
8	8月5日(木) 実行委員会との反省会		
9			
10			
11			
12			
23/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川担当	氏 名	藤原 雅司	内 線	372
支援校名	水門川の川底学習会	担当教員名	-	対象学年	保育園～6年生

【事例概要】水門川クリーン作戦関連イベント
 実施日 7月31日(土) 8:00～9:45 野外学習
 学習場所:水門川(貴船広場～新大橋上流間)
 テーマ「水門川の川底学習会」
 水門川にどんな生き物がすんでいるかな？
 水門川クリーン作戦(ゴミ拾い)
 水門川にどんな生き物がすんでいたかな？
 結果発表会(発表及び感想)

【工夫した点、苦労した点】

- ・ 班が分かりやすいよう、また子供達も自分の班がすぐ分かるように、班毎に色の違うパッチを作り、子供達の胸や肩に付けさせた。
- ・ 飛び込み参加が多く班割に苦慮した。
- ・ 受付に水門川クリーン作戦の受付と間違えてみえるかたもあり、受付が混雑した。
- ・ 結果発表では、熱中症がおこらないように、簡潔な説明に心がけた。

【子供達の反応】

- ・ 前日に設置しておいた仕掛けに50cmを超えるスズキがつかまり、こんな大きな魚もいるのかと子供達は目を丸くしていた。
- ・ 最初は思ったより汚い川の水にとまどっているようであったが、魚を捕まえ出すと無我夢中になっていた。
- ・ 親子参加が多く、終始楽しく活動していた。

【関係者からの意見】

- ・ 水門川に少しでも愛着をもっていただくためにも、学習会は是非続けていきたい。

【今後の課題・課題への提案】

- ・ ゴミの分別がうまくできていなかったため、もう少し周知させておくべきだった。

【担当者として得たもの】

- ・ 子供達が川に愛着・興味を持ってもらえるためには、このような事業は必要だと思う。



水門川にどんな生き物がすんでいるかな？
スズキ、ボラ、メダカ、フナ、ドジョウ、ヨシノボリなどを見付けました。



水門川クリーン作戦(ゴミ拾い)
水門川クリーン作戦の参加者と一緒に、空き缶など川に捨てられたゴミを拾いました。



結果発表会(発表及び感想)
「こんなに大きな魚がいると思わなかった」という感想がありました。

所属	河川砂防課 河川担当	氏名	藤原 雅司	内線	372
支援校名	水門川の川底学習会	担当教員名	-	対象学年	保育園～6年生

【新聞記事等】

水門川 すっきり

大垣市 市民650人がごみ拾い



児童、生物観察も楽しむ

大垣市の中心部を流れる水門川で31日、第9回水門川クリーン作戦（同作戦実行委員会主催）が行われ、市民ら約650人が早朝から清掃活動に取り組んだ。
（玉田 健太）

参加者は、水をせき止めた川に長靴で入り、素手や火ばさみでゴミ拾いに汗を流した。約2時間で、缶や瓶など約1・4トンのゴミを拾い集めた。清掃活動と合わせて、小学4～6年生を対象にした「川底学習会」も開催。子どもたちはフナやナマス、スジエビなどをたもみなどで捕まえ、じっくり観察していた。この学習会の様子は、ぎふチャンネルオでも放送が予定されている。

清掃活動に汗を流す参加者 大垣市高砂町

平成 22 年 8 月 1 日 (日) 岐阜新聞 21 面 西濃地域版

650人が川清掃

大垣



大垣市中心部を流れる水門川で31日、水門川クリーン作戦が実施され、市民ら約650人が参加して清掃活動を行った。水門川沿いの歩道・遊歩道の草取りやゴミ拾いをして、約1時間活動して約1.4トンのゴミを集めた。

市中心的な活性化を図るNPO法人などでつくる実行委員会の主催。本町の豊船広福から西外領町の八幡神社

ゴミ掃除をきき、川の中の清掃をする参加者 大垣市の高砂町で



大垣市から、せき止められた水門川から、50、60センチもある大きなスズキのほかに、ナマスやフナ、ヨシノボリ、モズガニ、メダカなど目撃された。参加者たちは「市民の協力で水門川の水は年々きれいになっていく。それにつれて見つける魚も多くなっていく」と話していた。

「子供光栄」

川底学習会 水門川に生息する魚をのり子で再現した。大垣市の豊船広福で

平成 22 年 8 月 1 日 (日) 毎日新聞 18 面 岐阜版

報告様式

土木事務所名 (大垣 土木事務所)

土木事務所担当者名	川瀬 樹一	内線	374
支援学校名	養老町立上多度小学校	Tel.	0584-32-1604
担当教員名	宮嶋先生		
対象学年	4年生 37名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
22/4		[機関・団体名] ・養老町役場 ・国土交通省 越美山系砂防事務所	
5			
6		[連携内容]	
7	6月16日(水) 上多度小学校と打合せ(1回目) ・小学校と砂防に関する総合学習の実施について打合せを行い、担当教員から内容、実施方法等の要望を伺った。	・養老町役場 学習現地まで移動する際の移動手段(バス)の手配。 ・国土交通省 越美山系砂防事務所 「土石流対策施設の説明模型」の借用。	
8			
9	9月6日(月) 上多度小学校と打合せ(2回目) ・総合学習の内容、実施方法、スケジュール(案)を説明し、担当教員に承諾を得た。		
10			
11	10月14日(木) 9:30~11:30 「砂防」をテーマに、教室内及び小倉谷砂防施設を活用し砂防に関する総合学習を実施。		
12			
23/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 砂防担当	氏 名	川瀬 樹一	内 線	374
支援校名	養老町立上多度小学校	担当教員名	宮嶋先生	対象学年	4年生

【事例概要】

小学校の教室内で土砂災害の種類や特徴、身の守り方及び地域を守る砂防施設の役割について説明。

その後、学校の横を流れる小倉谷護岸工や上流の砂防堰堤を見学し、土石流対策施設模型を使って砂防施設の必要性や効果について学習した。

【工夫した点、苦労した点】

小学校中学年でも土砂災害の種類や特徴を理解できるように説明するため、アニメーションや土石流等の様子を納めたビデオ映像を活用したり、小倉谷の砂防施設を間近に見ながら、興味を持って学習が出来るように工夫した。

先生の要望を受け、総合学習の題材「地域の環境」に合わせ、小倉谷の地形的特徴や古くから砂防事業が実施されてきたことを写真や具体的な数値(時期・数量・金額等)で説明した。

また、砂防堰堤等の見学にあたっては、危険な箇所にバリケードを設置し、安全確保に努めた。

【子供達の反応】

土砂災害を説明するアニメーションやビデオ映像に興味を持って見ていた。特に土石流やがけ崩れの映像には、驚きの声を上げていた。

現地にて「土石流対策施設模型」を使って砂防施設の効果について興味を持って実験していた。

【学校関係者からの意見】

子供たちは、土砂災害の恐ろしさに気づいたり、砂防の大切さを理解したりするなど、有意義な時間を過ごすことができました。

【今後の課題・課題への提案】

養老山地には土砂災害の恐れがある地域に位置する小学校が他にもあり、このような総合学習を展開できるとよい。

【担当者として得たもの】

砂防事業におけるソフト施策の対象は大人と考えがちであったが、小学生4年生でも十分に土砂災害・砂防について理解することができたようであり、子供達も対象と考えられるようになった。



教室にてパワーポイントを使って、土砂災害や砂防について学習



現地にて砂防堰堤の見学



「土石流対策施設模型」を使って砂防施設の必要性自ら実験し鑑認

所 属	河川砂防課 砂防担当	氏 名	川瀬 樹一	内 線	374
支援校名	養老町立上多度小学校	担当教員名	宮嶋先生	対象学年	4年生

【新聞記事等】

ケーブルテレビ コミュニティチャンネル 撮影状況



CCnet養老局
養老町行政情報番組『YOROちっく』

報告様式

土木事務所名 (揖斐 土木事務所)

土木事務所担当者名	梅田 純世	内線	463
支援学校名	池田町立八幡小学校	Tel.	0585-45-3106
担当教員名	香田先生・松原先生		
対象学年	4年生 80名(2クラス)		
年月	タイムテーブル		学校以外の連携機関
22/ 6	<p>6月8日(火)</p> <p>八幡小学校で野外学習内容の打合せ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日程の確認 ・ 実施内容(スケジュール)の確認 <p>6月22日(火) 野外学習実施</p> <p>午前 8:45 ~ 12:00</p> <p>学習場所: 杭瀬川(八幡小学校裏, 中川合流点下流)</p> <p>学習内容:</p> <ul style="list-style-type: none"> 水質調査(PH、COD) 生き物調査 生き物の判別 水のきれいさ判定 まとめ 		<p>【機関・団体名】</p> <p>野生生物保護推進員 國枝氏 岐大生(院生) 5名 河川工事を考える会 4名 揖斐事務所環境課 5名</p> <p>【連携内容】</p> <p>講師・調査協力</p>

所 属	河川砂防課	氏 名	梅田 純世	内 線	463
支援校名	池田町立八幡小学校	担当教員名	香田先生・松原先生	対象学年	4年生

【事例概要】

6月22日(火)午前 総合学習

場所:杭瀬川

内容:水質調査,生き物調査

子供たちの身近にある杭瀬川の水質及び生き物を調査し、川に慣れ親しんでもらう。

【工夫した点、苦労した点】

- ・ クラス単位で上流(小学校裏)と下流(中川合流点下流)に分かれて、生き物の比較ができるようにした。
- ・ 深みなどの危険な場所を事前に確認し、ビニルテープで囲み、立ち入らないようにした。
- ・ 水質については、専門的知識を有する揖斐事務所環境課職員が主体となって行った。

【子供達の反応】

- ・ カワニナなどいろいろな生物を捕まえ見ることが出来てよかった。
- ・ 生き物から川の大切さがよくわかった。

【学校関係者からの意見】

- ・ 子供達は、大変楽しく活動しながら、川の環境について考えることができました。総合的な学習を進めていく上で、今回の学習を生かしていきたいと思えます。

【今後の課題・課題への提案】

- ・ 児童数に応じた指導者、協力者が必要である。
- ・ 担当者においても、同定できるよう知識の習得に努めたい。

【担当者として得たもの】

- ・ 子供たちとの生き物調査を通して、杭瀬川の多様性を改めて実感した。



《生き物調査》
たも網を使って、水生生物を捕まえています。



《捕まえた生き物の判別》
捕まえた生き物の名前を調べています。



《まとめ》
水質、生き物の調査結果について説明を聞いています。

所 属	河川砂防課	氏 名	田中 純世	内 線	463
支援校名	池田町立八幡小学校	担当教員名	高橋先生・山本先生	対象学年	4年生

【新聞記事等】

平成22年6月23日(水) 岐阜新聞(朝刊) 西濃版

池田町の小 児童が水生生物観察
杭瀬川の美しさを実感

池田町八幡の八幡小学校4年生80人が22日、水質・生物調査「カワクラウオッチング」を同小近くの杭瀬川で行った。

水生生物の調査を通して、環境保全に理解を深める総合学習の一環。毎年、県揖斐

土木事務所などの協力で実施している。環境省希少野生動物植物保存推進委員の岡枝久夫さん(69)が指導した。

児童らは、たもを手入れに約30分、川に入り水生生物を探した。環境省の絶滅危惧(きん)

種に選定されているハトリヨを確認したほか、ドンコやスナヤツメなど12種類の魚と、カワニナなど15種類の昆虫を観察し、杭瀬川はきれいな水質で自然環境豊かな川であることを確かめていた。

(土屋健一)



たもを手入れに水生生物を探す児童たち「池田町八幡、杭瀬川」

報告様式

土木事務所名 (揖斐 土木事務所)

土木事務所担当者名	広瀬 隆男	内線	341
支援学校名	揖斐川町立谷汲中学校	Tel.	0585-56-3008
担当教員名	山本先生		
対象学年	1年生 28名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
22/10	<p>10月上旬 谷汲中学校と総合学習の主旨打ち合わせ</p> <p>10月29日(金) 谷汲中学校で総合学習内容の打合せ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日程の確認 ・ 実施内容(スケジュール)の確認 	<p>【機関・団体名】 野生生物保護推進員 國枝氏 揖斐川町谷汲振興事務所 2名</p> <p>【連携内容】 講師・調査協力</p>	
11	<p>11月5日(金) 総合学習実施</p> <p>午前 13:30 ~ 15:30 学習場所: 管瀬川(普通河川 中谷合流点) 学習内容: 水質調査(PH、COD) 生き物調査 生き物の判別 まとめ</p>		

所 属	揖斐土木事務所	氏 名	広瀬 隆男	内 線	341
支援校名	揖斐川町立谷汲中学校	担当教員名	山本先生	対象学年	1年生

【事例概要】

11月5日(金)午後 総合学習

場所:管瀬川

内容:水質調査,生き物調査

河川の観察を通して、人と自然との共生のあり方について学ぶ

【工夫した点、苦労した点】

- ・ タモ網による捕獲の他、水質調査および生物の種類選別についても、生徒たちに主体的に取り組んでもらった

【子供達の反応】

- ・ シマドジョウやカワヨシノボリなど身近な管瀬川にこのような生物がいることを初めて知った様子だった。
- ・

【学校関係者からの意見】

- ・ 生徒には、「私たちは、豊かな森林や山を守り、そこから流れ出る川に生息する生き物の観察をすれば、環境の実態がわかる。今学習していることを大切にして、環境を守り、住みやすい地域にしていけるよう、提言・発信しくことをしっかりやろうと話しました。

【今後の課題・課題への提案】

- ・ 生徒数に応じた指導者、協力者が必要。
- ・ 担当者においても、同定できるよう知識の習得に努めたい。

【担当者として得たもの】

- ・ 生徒たちと生物調査をすることで管瀬川の自然環境について再認識することができた



《生き物調査》

タモ網を使って、水生生物を捕まえています。



《捕まえた生き物の判別》

捕まえた生き物の名前を調べています。



《まとめ》

水質、生き物の調査結果について説明を聞いています。

報告様式

土木事務所名 (揖斐 土木事務所)

土木事務所担当者名	広瀬 隆男	内線	341
支援学校名	大垣市立綾里小学校	Tel.	0584-91-1018
担当教員名	早野先生		
対象学年	3年生 36名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
22/ 4		【機関・団体名】	
5			
6		【連携内容】	
7			
8			
9			
10			
11	11月1日(月) 綾里小学校より杭瀬川源流付近の大津谷について 学習したい旨支援の依頼 11日4日(木) 学習支援内容について電話打ち合わせ 11月8日(月) 大津谷公園周辺において総合学習支援を実施 (1030~1130)		
12			
23/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課	氏 名	広瀬 隆男	内 線	341
支援校名	大垣市立綾里小学校	担当教員名	早野先生	対象学年	3年生

【事例概要】

実施日:平成22年11月8日(月)
 時間 :10:30~11:30
 学習場所:大津谷公園
 テーマ:「杭瀬川探検2～杭瀬川の上流へ」
 ・杭瀬川上流の川の様子、生息する生き物
 自然環境
 ・砂防ダムなど砂防工事の概要(内容、必要性)
 ・人と自然との共存のあり方



模型を使っでの砂防ダム効果説明

【工夫した点、苦労した点】

小学校3年生の生徒さんに理解しやすいように、写真やパネルの他に、紙模型を利用して砂防ダムの必要性を説明した。



実際に砂防ダムを見ての工事説明

【子供達の反応】

実際に砂防ダムの現場まで沢沿の林道を歩いて登ったことにより、山の高さや上流の川が急勾配であることを実感していた。

【学校関係者からの意見】

模型などを用いた説明に子供たちは驚き、納得をしていた。また、ダムを間近に見た他、山や眼下の平野を見渡したことも印象深かったようだ。

【今後の課題・課題への提案】

模型を使っでの説明の際に、子供たちにも繰り返し操作してもらいより興味をもってもらいたい。



質問

【担当者として得たもの】

砂防事業に全く知識がない子供たちに説明することで、自分自身が砂防事業の必要性を再認識できた。

所属	河川砂防課	氏名	広瀬 隆男	内線	341
支援校名	大垣市立綾里小学校	担当教員名	早野先生	対象学年	3年生

【新聞記事等】



えんじえる

綾里小学校
3年1級学期通信
No.36
H. 22. 11. 10.

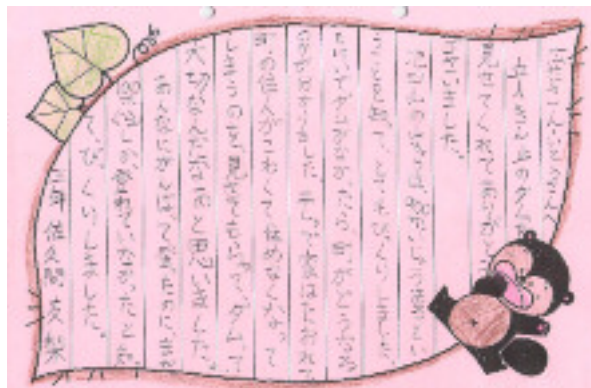
杭瀬川探検パート2…上流をたずねて…

1学期には、綾里校区で杭瀬川に棲む生き物やスポーツ公園の特産などを調べ、川をめぐる自然環境について勉強しました。2学期、10月には、河川環境講座で学習プログラムを体験したり水辺館を見学したりして、さらに関心を高めました。そして、今回の校外学習では、環境講座の実践や見学で勉強したことや本で調べたことを実際に見て感じ取ろうと、杭瀬川の上流を訪れました。キャンプ場を歩いて移動する途中、一時期に降られる場面もありましたが、ほぼ予定通りに自然探検をし、初めて見ることや知ること驚きの連続でした。

中川水権公園にて 国道417号からほど近く、車が走り民家が並ぶ街中に、中川が流れ、ハリヨの棲む池もありました。池田町教育委員会の横暮さんがG.Tとして現地に来てくださり、湧き水の跡、ハリヨの跡、辺りで見られる魚や鳥の話をしてくださいました。中川に流れ込む湧き水による池にはたくさんの種類の生き物がいること、その中で以前は見られなかった魚が近頃見られなくなったことや、ハリヨはきれいな湧水の池しか生きられない魚で絶滅危惧種であること、ハリヨの棲む池を地域の方が大切に守っていることとお聞きし、子どもたちには印象強く残ったようです。私が事前に下見に訪れた時にはカワウソウが泳いでいる姿が見られたのですが、この日は残念ながら出会えませんでした。それでも、池や川の中を目を凝らして観察する中で、ハリヨやその他の魚、ザリガニが鳥に食べられバラバラにされた姿などを見つけていました。たくさんの水鳥が飛来し水中に頭を突っ込んでえさをとらえる姿やそこで休憩した姿も見ました。生き物が豊かな自然界で必死に生きている現場でした。

大津谷キャンプ場にて 街中の水権公園から再びバスに乗って10分ほどで、池田山をみるみる上っていき、見晴らしのよいキャンプ場に到着しました。ここでは、揖斐土木事務所の広瀬さんと伊藤さんがG.Tとして来てくださり、写真パネルや立体模型を使って、川の上流の様子や砂防ダムの大切さについて説明してくださいました。私たちの暮らす川の中下流とは、辺りの景観もガラリと変わり、山を切り分けたようなV字谷は森の木々に囲まれた中で、流れ出す土砂から人々の家や暮らしを守るために砂防ダムが必要なことや、昔から人々が苦労と努力を重ねてダムを作ってきたこと、現在も自然との調和を考えながら工事が進められていることとお聞きしました。

バスを降りて急坂を上り、ダムのすぐ近くのかかり高い所まで来たと思ったら、池田山頂92.4mのうち現在地は100mほどと教えていただき、川の源流は溪か山の奥深く高い所にあると実感しました。この辺りでは、蜂や蝶、雉、鳥では鶯や鷹が見られるそうで、下流地域とは生き物の種類もまるで違うことにも驚いていました。池田山頂の一帯の流れが合流を重ねながらやがて大きな川の流れとなり、綾里校区までつながっていること、それぞれの環境に様々な生き物が生きていることを学びました。



綾里小学校三年生一同



大津谷キャンプ場では、砂防ダムや山にすむ動物について、お話をきかせてくださって、ありがとうございました。川の上流の様子がよく分かりました。

広瀬さん・伊藤さんへ

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	高橋 君治	内 線	322
支援校名	関市立武芸小学校	担当教員名	中村先生	対象学年	3年生

【事例概要】

日時 7月6日(火) 午前

内容 総合学習(カワゲラウォッチング)

場所 武儀川



少し増水しているも、たくさんの生物が捕れました。

【工夫した点、苦労した点】

・小学校3年生対象で、教室でのカワゲラウォッチングに関する説明は初めてであったので、分かりやすく、ポイントを絞ってパワーポイントを作成した。

【子供達の反応】

- ・パワーポイントの工夫も効いて、熱心に最後まで説明を聞いてくれていた。
- ・時間を忘れて調査に没頭していた。
- ・びしょぬれになりながら、夢中で調査していた。



同定作業(なにが捕れたかな)

【学校関係者からの意見】

・カワゲラウォッチングで、お世話になりました。初めて知ることがいっぱい、とても楽しく取り組みました。本当にありがとうございました

【今後の課題・課題への提案】

・とりまとめが少し慌ただしくなり、理解が深められたかが、心配である。落ち着いてしっかり理解するには、教室に移ってとりまとめるのがいいかもしれない。



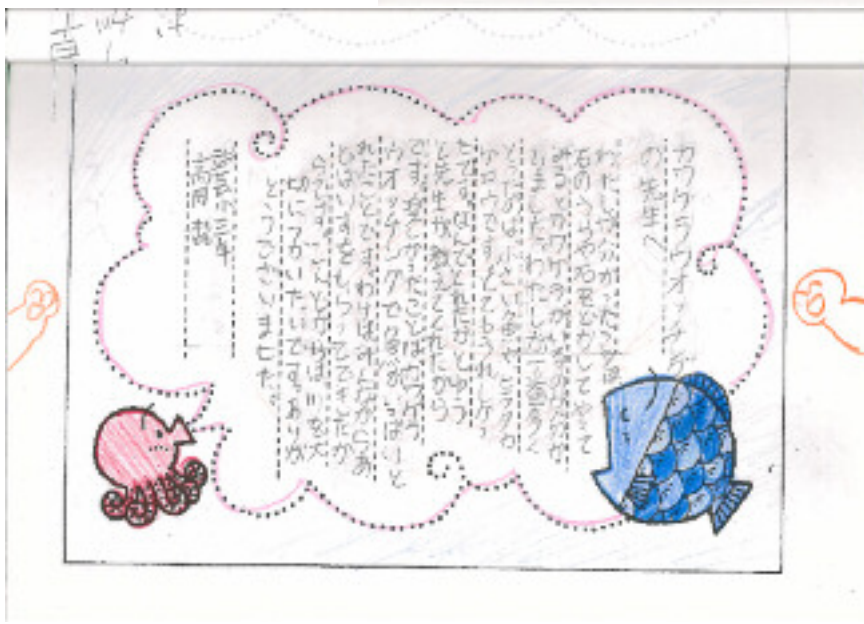
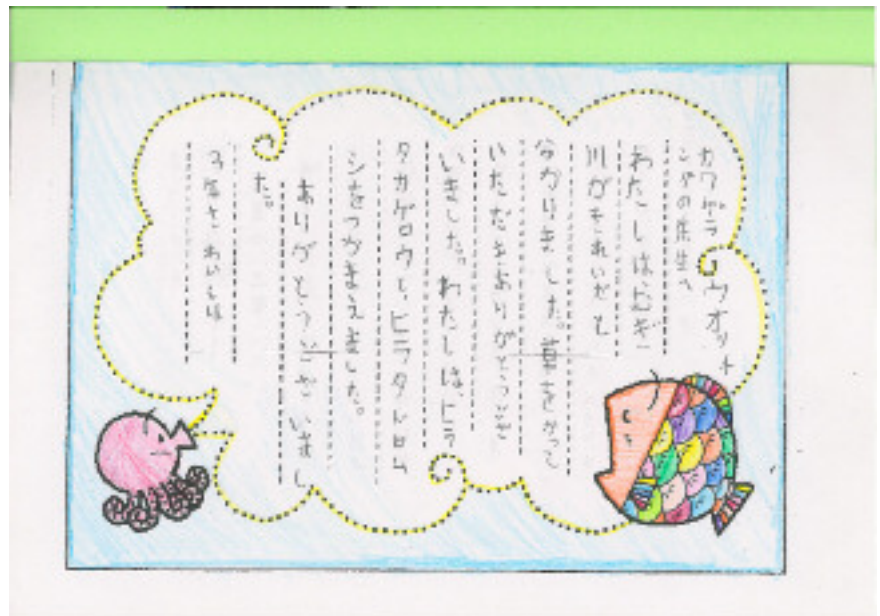
結果のとりまとめ

【担当者として得たもの】

・小学校 3 年生対象の説明の仕方、資料の作り方に少し自信をもつことができた。

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	高橋 君治	内 線	322
支援校名	関市立武芸小学校	担当教員名	中村先生	対象学年	3年生

【児童のみなさんから素敵なお礼のお手紙をいただきました】



報告様式

土木事務所名 (美濃 土木事務所)

土木事務所担当者名	高橋 君治	内線	322
支援学校名	関市立金竜小学校	Tel.	0575-28-2303
担当教員名	長尾先生		
対象学年	4年生 101名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
22/ 4	4月16日(金) 関市役所をつうじて総合学習支援の意向調査	【機関・団体名】 県博物館 千藤学芸員 【連携内容】 講師、採補指導	
5	4月22日(木) 小学校より支援依頼		
	5月20日(木) TELにて意向確認、打合せ日程調整		
	5月26日(水) 岐阜県博物館千藤先生と打合せ		
	5月28日(金) 漁協打合せ		
6	6月4日(金) 小学校にて打合せ		
7	6月14日(月) 津保川において総合学習 (カワゲラウォッチング)		
8			
9			
10			
11			
12			
23/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	高橋 君治	内 線	322
支援校名	関市立金竜小学校	担当教員名	長尾先生	対象学年	4年生

【事例概要】

日時 6月14日(月) 午前
 内容 総合学習(カワゲラウォッチング)
 場所 津保川

【工夫した点、苦労した点】

・昨年度の反省をもとに、橋の下に集合し、説明を行った。

【子供達の反応】

・津保川がきれいな川であることを確認し、これからも津保川や長良川のきれいな環境を守っていきたいという願いをもつことができた。

【学校関係者からの意見】

・「金竜の自然」というテーマで校区を流れる長良川について調べ、地域の自然を知り守って以降とする学習をしている。その中の一つの活動として「津保川のカワゲラウォッチング」を行った。学習のテーマに沿った活動ができた。
 ・実際に川で子ども達が生き物をつかまえることで、どんな生き物がいるのか、どのくらいいるのか...などを自分の目で見て、川の環境や生き物への関心が高まり、理解が深まった。意欲的に学ぶことができた。
 ・カワゲラウォッチングに詳しい多くの方に教えていただけたので、安全に調査を行うことができた。

【今後の課題・課題への提案】

・小学生にはすこし難しいかもしれないが、津保川では、上下流の違いや、昔と今の違いなどに話を広げられるといいと思った。

【担当者として得たもの】

・千藤先生から、説明や、進め方のポイントが学べた。



熱心に採捕、時間が足りないくらい



協力して同定作業



解説、とりまとめ

報告様式

土木事務所名 (美濃 土木事務所)

土木事務所担当者名	高橋 君治	内線	322
支援学校名	関市立上之保中学校	Tel.	0575-47-2004
担当教員名	井戸先生		
対象学年	1年生 12名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
22/4	4月16日(金) 関市役所をつうじて総合学習支援の意向調査	【機関・団体名】 【連携内容】	
5	5月5日(水) 中学校より支援依頼		
	5月6日(木) TELにて意向確認、打合せ日程調整		
	5月24日(月) 中学校にて事前打合せ		
6	6月4日(金) 津保川において総合学習 (パックテストの授業)		
7			
8			
9			
10			
11			
12			
23/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	高橋 君治	内 線	322
支援校名	関市立上之保中学校	担当教員名	井戸先生	対象学年	1年生

【事例概要】

日時 6月4日(金) 午後
 内容 総合学習(パケットの授業)
 場所 上之保中および津保川

【工夫した点、苦労した点】

・中学レベルに合わせた授業になるよう心がけた。

【子供達の反応】

・津保川がきれいであるということが分かり喜んで
 いた。また、きれいな川を守っていきたいという気持ち
 になっていた。
 ・真剣に、また、楽しんで、実験にとりこんでいた。
 ・パケットの扱いが中学生レベルに合っていて失
 敗する生徒はいなかった。

【学校関係者からの意見】

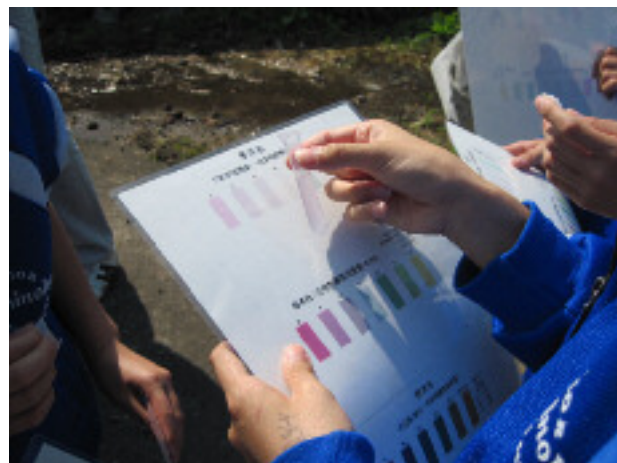
・お忙しい中ご指導に来ていただき、ありがとうございました。
 専門的な解説と体験によって、生徒たちが地
 域の水質や環境についての関心を高めるととも
 に、科学的な資料をもとにして考えていくという姿勢
 をもつための大切な機会となりました。

【今後の課題・課題への提案】

・パケットの試薬を提供し、後日学校の宿泊学習
 において、下流部の河川の水質との比較を学習され
 たとのことであった。この支援が、その場の支援にと
 どまらず、試薬を提供したことで、子どもたちの学習
 の場が広がってとてもよかった。

【担当者として得たもの】

・中学レベルの授業について考えることができた。



津保川の現地で実験



結果のとりまとめと解説



津保川の水質にかんする考察

報告様式

土木事務所名 (美濃 土木事務所)

土木事務所担当者名	高橋 君治	内線	322
支援学校名	関市立上之保小学校	Tel.	0575-47-2013
担当教員名	春田先生		
対象学年	4年生 17名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
22/ 4	4月16日(金) 関市役所をつうじて総合学習支援の意向調査	【機関・団体名】	
5	5月7日(金) 小学校より支援依頼 5月12日(水) ヤマリン使用打合せ 5月20日(木) TELにて意向確認、打合せ日程調整 5月25日(火) 小学校にて打合せ 5月30日(日) ヤマリン使用予約	【連携内容】	
6	6月10日(木) 津保川において総合学習 (カワゲラウォッチング)		
7	7月1日(木) 小学校において総合学習 (パケットテストの授業)		
8			
9			
10			
11			
12			
23/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	高橋 君治	内 線	322
支援校名	関市立上之保小学校	担当教員名	春田先生	対象学年	4年生

【事例概要】

日時 6月10日(木) 午前
 内容 総合学習(カワゲラウォッチング)
 場所 津保川

日時 7月1日(木) 午後
 内容 総合学習(パケットスの授業)
 場所 上之保小学校

【工夫した点、苦労した点】

・ヤマリンをサプライズ登場させた。

【子供達の反応】

- ・カワゲラやヘビトンボ、コオニヤンマ、サワガニ、カワムツなど多くの種類の水生生物を捕まえ、観察することができて良かった。
- ・津保川の水質への興味・関心が高まり、「水生生物のことをもっと調べたい。」「水がきれいかどうかを知りたい。」という意欲をもつことができた。
- ・カワゲラやヘビトンボなどのきれいな水にすむ指標生物が多かったことから、上之保地区の津保川がきれいであるということがわかり喜ぶことができた。また、今後さらにきれいにし津保川を守っていきたいという気持ちになれた。

【学校関係者からの意見】

- ・水生生物を捕まえるための道具や見分けるための資料、まとめるための集計表を準備していただいたため、課題追究がしやすかった。
- ・資料では分からない水生生物についても、教えてもらえてよく分かった。
- ・事前に連絡をとり、打合せをすることができたため、安心して当日を迎えることができた。
- ・ヤマリンも応援に来てくれて、子ども達が大変喜んだ。

【今後の課題・課題への提案】

・移動がスムーズでなかったため時間をロスしたので、改善したい。

【担当者として得たもの】

・黒板を利用することが、分かりやすい説明につながった。



どんな生物がとれたかな。



応援に来たヤマリンと記念撮影



パケットス実験、うまくできました。

報告様式

土木事務所名 (美濃 土木事務所)

土木事務所担当者名	高橋 君治	内線	322
支援学校名	関市立下有知中学校	Tel.	0575-22-3179
担当教員名	羽賀先生		
対象学年	1年生 79名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
22/ 4	4月16日(金) 関市役所をつうじて総合学習支援の意向調査	【機関・団体名】 帝国建設コンサルタント 【連携内容】 講師、採補指導	
5	5月7日(金) 中学校より支援依頼 5月10日(月) 実施日変更依頼 5月24日(月) 講師手配調整 5月28日(金) 漁協説明 5月28日(金) FAXにて場所打合せ		
6	6月3~4日 講師手配及び日程調整 6月15日(火) 講師日程調整 6月29日(火) 中学校にて最終打合せ		
7	7月7日(水) 寺田川において総合学習(水生生物調査)		
8			
9			
10			
11			
12			
23/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	高橋 君治	内 線	322
支援校名	関市立下有知中学校	担当教員名	羽賀先生	対象学年	1年生

【事例概要】

日時 7月7日(水) 午後

内容 総合学習(水生生物調査)

場所 寺田川

【工夫した点、苦労した点】

川幅が狭く、調査がやりにくかった。

同定作業までとし、集計、考察は学校側に任せた。

【子供達の反応】

・小さな川から、見たこともない水生生物を実際に捕獲し、名前を知ることができ、インターネットや図鑑を使った学習ではできない体験をすることができ、たいへん学習になった。

・川に入れない生徒や素手で生物を捕獲できない生徒はだれもいなくて、興味関心をもって活動することができた。

【学校関係者からの意見】

・活動後、川の水質や生物に興味をもち、個人テーマを設定し、更に調べ学習を進めることができた。

・支援してくださった方が、生徒達と一緒に川に入り、生物の捕獲の仕方や名前を細かに教えて下さったので、生徒達はよく理解することができた。

・「きれいな水にいる生き物」「きたない水にいる生き物」を分類させ、寺田川の状態を知りたかったが用水の水が混じり、はっきりと区別することができなかった。

・寺田川の川幅が狭く、生徒79人が活動しにくかった。また、グループが12もあり、教師は十分な支援ができなかった。

・川の水位などもあり、当日の朝まで実施判断ができないことで、学校での事前指導をいつ行えばよいか迷った。

【今後の課題・課題への提案】

・事前指導に対する支援も行えるとよいと思う。

・場所を再検討してはどうか。

【担当者として得たもの】

・中学生レベルに合わせた支援のノウハウ



川幅が狭く79人での調査は難しかった。



調査がやりにくい中、皆が協力して調査できた。



たくさんの生物が捕獲できた。

報告様式

土木事務所名 (美濃 土木事務所)

土木事務所担当者名	高橋 君治	内線	322
支援学校名	関市立博愛小学校	Tel.	0575-46-2129
担当教員名	山中先生		
対象学年	5年生 36名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
22/ 4	4月16日(金) 関市役所をつうじて総合学習支援の意向調査	【機関・団体名】	
5	5月10日(月) 小学校より支援依頼		
	5月19~20日 TELにて意向確認打合せ日程調整		
6	6月2日(水) 小学校にて打合せ	【連携内容】	
	6月11日(金) 小学校にて再度打合せ、現地調査		
	6月15日(火) 武儀川において総合学習 (カワゲラウォッチング) 小学校において総合学習 (パケットテストの授業)		
7			
8			
9			
10			
11			
12			
23/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	高橋 君治	内 線	322
支援校名	関市立博愛小学校	担当教員名	山中先生	対象学年	5年生

【事例概要】

日時 6月15日(火) 午前

内容 総合学習

(カワゲラウォッチング、パックテストの授業)

場所 武儀川、博愛小学校

【工夫した点、苦労した点】

・事前に現地を調査し、草刈りを行った。

【子供達の反応】

- ・夢中になって生物を採捕しており、時間が足りないくらいであった。
- ・地域の川の汚れ具合を知り、「川をきれいにしたい」という気持ちをもってくれた児童がたくさんいた。

【学校関係者からの意見】

・実際に川に入って、生きものをつかまえたり、自分達でパックテストを行い、水の汚れを数値で確かめたりする体験は、子ども達にとって大変楽しく、実り多い学習となりました。

【今後の課題・課題への提案】

・カワゲラウォッチング～パックテストの流れの中で、一つのストーリーや学習のねらいを明確にして洗練された総合学習支援を目指したい。

【担当者として得たもの】

・初めて、ナベブタムシを確認し、正確に同定することができた。指標生物ではないが、きれいな水に住むということであった。自信がもてた。



調査方法、うまくできています。



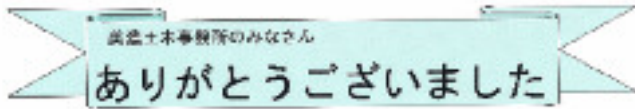
同定作業



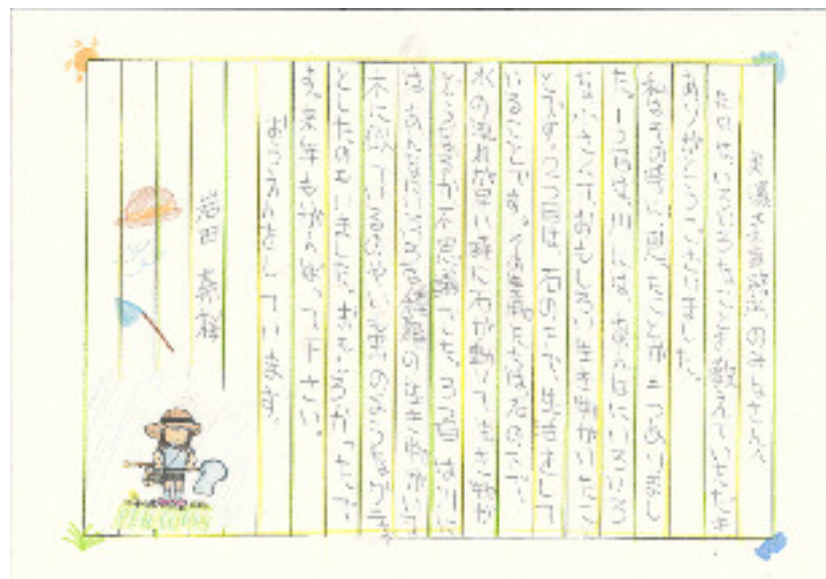
パックテストの授業

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	高橋 君治	内 線	322
支援校名	関市立博愛小学校	担当教員名	山中先生	対象学年	5年生

【児童のみなさんから素敵なお礼のお手紙をいただきました】



2010. 6. 15 関市立博愛小学校5年生一同



報告様式

土木事務所名 (美濃 土木事務所)

土木事務所担当者名	高橋 君治	内線	322
支援学校名	関市立富野小学校	Tel.	0575-29-0005
担当教員名	道家先生		
対象学年	5年生 17名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
22/4	4月16日(金) 関市役所をつうじて総合学習支援の意向調査	【機関・団体名】 県博物館 千藤学芸員 【連携内容】 講師、採補指導	
5	5月12日(水) 小学校より支援依頼		
	5月14日(金) TELにて意向確認		
	5月28日(金) 岐阜県博物館千藤先生と打合せ		
6			
7			
8			
9	9月10日(金) TELにて打合せ日程調整		
	9月22日(水) 小学校にて打合せ		
	9月22~23日 千藤先生日程調整		
10	10月6日(水) 小野川において総合学習 (カワゲラウォッチング)		
11			
12			
23/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	高橋 君治	内 線	322
支援校名	関市立富野小学校	担当教員名	道家先生	対象学年	5年生

【事例概要】

日時 10月6日(水) 午前
 内容 総合学習(カワゲラウォッチング)
 場所 小野川

【工夫した点、苦労した点】

- ・事前草刈りを実施した。その際、水際部の植生を残し、生物の隠れる場所を残した。
- ・長時間屋外では寒いため、とりまとめは教室で行うことにした。

【子供達の反応】

- ・水温がやや低かったものの、子どもたちは夢中になって生物を採取し、観察することができた。学習の振り返りを教室に入って行ったため、落ち着いて考察することができてよかった。
- ・川の中の石の下や川岸の草のところなど自分たちで積極的に生物のいそうな所を考えて捕まえていた。

【学校関係者からの意見】

- ・最初に水生昆虫についての説明があったため、課題を明確に持って活動することができた。学習する前には、小野川は「すごくきれい」だと子どもたちは思っていたが、採取した昆虫の種類から、少し汚れているとの判定が出て、驚いていた。下水もほとんど完備されており、その原因は分かりにくい、ふるさとの川を美しくしたいという思いをこれからの自分の生活に生かすことができるよう、今回学んだことを価値づけていきたいと思った。

【今後の課題・課題への提案】

- ・今年度は、外部専門家に頼る回数を非常に少なくし、職員のみで支援する回数が多かった。特定の職員のみ偏っているため、全員が講師になれるよう、各回で、分担して講義ができるようにするべきだと思う。

【担当者として得たもの】

- ・可能であればとりまとめを教室で行った方が落ち着いてできることがわかった。



千藤先生による説明の様子。



寒さに負けず。



教室に移動してとりまとめ

報告様式

土木事務所名 (美濃 土木事務所)

土木事務所担当者名	高橋 君治	内線	322
支援学校名	関市立安桜小学校	Tel.	0575-22-5421
担当教員名	長谷部先生		
対象学年	4年生 95名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
22/4	4月16日(金) 関市役所をつうじて総合学習支援の意向調査	【機関・団体名】	
5	5月12日(水) 小学校より支援依頼 5月14~20日 電話にて意向確認、日程調整 5月28日(金) 漁協説明	【連携内容】	
6	6月4日(金) 小学校にて打合せ 6月22日(火) 天候不順にて予備日(7月2日)に変更		
7	7月2日(金) 天候不順によりカワゲラウォッチングを取りやめ、急遽パッケテストの授業に変更		
8			
9			
10			
11			
12			
23/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	高橋 君治	内 線	322
支援校名	関市立安桜小学校	担当教員名	長谷部先生	対象学年	4年生

【事例概要】

日時 7月2日(金) 午後
 内容 総合学習(パックテスト)
 場所 小学校ホール(関川河川水)

【工夫した点、苦労した点】

天候不順により急遽予定していなかったパックテストの授業に変更したため、準備がいきとどかなかった。

【子供達の反応】

- ・水のきれいさを色で判断できて不思議だった。
- ・増水していて濁っていたからきたないとおもっていたけど、濁り具合と汚さとは違うことが分かった。
- ・ほんの少しのジュースをこぼしても、きれいにするにはすごたくさん水がいることが分かった。
- ・魚がいっぱい住めるきれいな川になるといいと思った。

【学校関係者からの意見】

- ・水質検査を実施したいと思っていたが、試薬を学校で買うことはできないのであきらめていた。支援が得られて大変助かった。よい経験になった。
- ・短い時間だったが結果についてはよく分かった。それが意味することは、事後にもう一度確認することで理解することができた。
- ・学校行事の関係で、カワゲラウォッチングができなかったのがとても残念だった。

【今後の課題・課題への提案】

- ・急な予定変更にも対応できるだけの準備をしておく
 なお、学校のニーズに応えることができるはず。

【担当者として得たもの】

- ・大きなホールで、大人数での講義を経験し、教室との違い、全体への説明の難しさが解った。



実験のやり方を説明



ホールと理科室で実験(理科室の様様)



電子黒板でのとりまとめ

報告様式

土木事務所名 (美濃 土木事務所)

土木事務所担当者名	高橋 君治	内線	322
支援学校名	関市立洞戸小学校	Tel.	0581-58-2024
担当教員名	倉坪先生		
対象学年	4年生 26名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
22/ 4	4月16日(金) 関市役所をつうじて総合学習支援の意向調査	【機関・団体名】	
5	5月13日(木) 小学校より支援依頼 5月20日(木) TELにて意向確認打合せ日程調整 5月31日(月) 小学校にて打合せ	【連携内容】	
6	6月16日(水) 河川増水のため順延 6月17日(木) 板取川において総合学習		
7	(カワゲラウォッチング)		
8			
9			
10			
11			
12			
23/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	高橋 君治	内 線	322
支援校名	関市立洞戸小学校	担当教員名	倉坪先生	対象学年	4年生

【事例概要】

日時 6月17日(金) 午前
 内容 総合学習(カワゲラウォッチング)
 場所 板取川

【工夫した点、苦労した点】

・昨年の実施箇所が増水していたため、下流地点で調査可能な箇所を選定した。

【子供達の反応】

・広範囲に積極的に調査していた。
 ・とりまとめを河原で行ったが、炎天下で辛そうであった。

【学校関係者からの意見】

・延期日程調整や、実施場所の変更など、ご配慮いただき、無事に行うことができました。
 ・河川の状況が思わしくない中、生き物の見つけ方やこれまで知らなかった名前などを教えていただけたことで、子どもたちにとって大変貴重な機会となりました。また、この美しい川や自然を守って生きたいという気持ちが高まったようで、後の学習にも意欲的に取り組んでおります。

【今後の課題・課題への提案】

・とりまとめを行う際の状況に配慮して場所等を選定したほうがよいと思った。

【担当者として得たもの】

・天候によっては、晴れていても増水することがあるので、調査箇所の候補地点は事前に下見し、調査可能箇所を2~数カ所選定しておくとうよいと思った。



生物のいそうなところを考えて調査できた



協力して同定作業



白い河原は暑かった

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	高橋 君治	内 線	322
支援校名	関市立洞戸小学校	担当教員名	倉坪先生	対象学年	4年生

【児童のみなさんから素敵なお礼のお手紙をいただきました】



報告様式

土木事務所名 (美濃 土木事務所)

土木事務所担当者名	高橋 君治、山賀 博文	内線	322
支援学校名	美濃市立牧谷小学校	Tel.	0575-37-0005
担当教員名	中田先生		
対象学年	5年生 22名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
22/ 4	<p>4月16日(金) 美濃市役所をつうじて総合学習支援の意向調査</p> <p>5月20日(木) 小学校より支援依頼 5月21日(金) 小学校にて打合せ 5月31日(月) 板取川において総合学習(カワゲラウォッチング)</p> <p>9月22日(水) 講義内容について打ち合わせ 9月28日(火) 総合学習 実施(砂防)</p>	【機関・団体名】	
5		【連携内容】	
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
23/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	高橋 君治	内 線	322
支援校名	美濃市立牧谷小学校	担当教員名	中田先生	対象学年	5年生

【事例概要】

日時 5月31日(月) 午前
 内容 総合学習(カワゲラウォッチング)
 場所 板取川

【工夫した点、苦労した点】

・依頼から実施日までの期間が短く、準備調整等がたいへんだった。

【子供達の反応】

・実際に自分達の手で調べてみて、「板取川は『きれい』」ということがわかりました。予想と違ったことで、その後の環境学習の意欲付けとなりました。
 ・「身近な板取川の環境を、自分達の手で守っていききたい。」という意識を持つことができました。
 ・「きれい」「少し汚い」「汚い」「とても汚い」の4段階のうち「少し汚い」と予想する児童が19人と多くいたのは、保護者や地域の人から「以前より汚れている」引用を聞かされているからだと思えます。

【学校関係者からの意見】

・4名の職員の方にお世話をさせていただいて、安全に実施することができまして、感謝しております。必要な道具や活動場所の安全確認など、事前の準備をしていただいたことを感謝しております。

【今後の課題・課題への提案】

・楽しいカワゲラウォッチングにとどまらず、「きれいな川を守る」「川をきれいにする」ことを考えるきっかけとなるような総合学習支援を行っていきたい。

【担当者として得たもの】

・記事に若干の誤認があり、説明不足を反省する。



うまく捕まえられました



仲間と協力、同定作業



とりまとめ

所 属	河川砂防課	氏 名	山賀 博文	内 線	324
支援校名	美濃市立牧谷小学校	担当教員名	中田先生	対象学年	5年生

【事例概要】

日時 9月28日(火) 午後(5時間目)

場所: 牧谷小学校

内容: 自然災害ってなに?

なぜ土砂災害?

土石流・がけ崩れ・地すべりとは?

砂防とは?

【工夫した点、苦労した点】

1時間の授業で何種類もの土砂災害や対策工を紹介することとしたが、種類の違いをわかりやすくするため図や模型実験、実際の災害時の動画など、複数の資料を使って繰り返し説明した。

【子供達の反応】

・プレゼンテーションの中に、写真、動画、アニメーションなど、視覚に訴える資料がたくさんあったため、最後まで興味深く土砂災害のおそろしさや仕組みを学ぶことができた。

【学校関係者からの意見】

・視覚に訴える様々な資料のおかげで、子どもたちには土砂災害のおそろしさや仕組みがよくわかった。
 ・プレゼンテーション中のスライドは、短いキーワードで表現してあることが多く、わかりやすいものだった。
 ・担当の方の専門家ならではの説明が、子どもたちに分かりやすかった。

【今後の課題・課題への提案】

今回は授業形式のみであったが、立木を捕捉するなど効果を発現した施設があれば現地見学を実施して効果を実感してもらいたい。

【担当者として得たもの】

普段児童を対象に説明することがないので、わかりやすい表現を工夫する経験になった。



授業の様子



アニメーションや動画を使って災害の種類や対策工を説明。



土石流発生の様子を動画で紹介。

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	高橋 君治	内 線	322
支援校名	美濃市立牧谷小学校	担当教員名	中田先生	対象学年	5 年生

【新聞記事等】



平成 22 年 6 月 2 日(水) 中日新聞 中濃版



平成 22 年 6 月 2 日(水) 中日新聞 中濃版

報告様式

土木事務所名 (美濃 土木事務所)

土木事務所担当者名	高橋 君治	内線	322
支援学校名	美濃市立中有知小学校	Tel.	0575-33-1115
担当教員名	山口先生		
対象学年	4年生 34名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
22/4	4月16日(金) 美濃市役所をつうじて総合学習支援の意向調査	【機関・団体名】	
5			
6	5月25日(火) 小学校より支援依頼 6月初旬 TELにて意向確認、打合せ日程調整 6月15日(火) 小学校にて打合せ 6月29日(火) 小学校において総合学習	【連携内容】	
7	(パケットの授業) 7月2日(金) 小俣川において総合学習 (カワゲラウォッチング)		
8			
9			
10			
11			
12			
23/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	高橋 君治	内 線	322
支援校名	美濃市立中有知小学校	担当教員名	山口先生	対象学年	4 年生

【事例概要】

日時 6月29日(火) 午前
 内容 総合学習(パックテストの授業)
 場所 中有知小学校

日時 7月2日(金) 午前
 内容 総合学習(カワゲラウォッチング)
 場所 小俣川

【工夫した点、苦労した点】

・とりまとめ箇所がアスファルト舗装で昨年度、暑かったため、今年度は午前中とした。

【子供達の反応】

- ・知らない生き物がたくさんいてびっくりした。
- ・予想は「少しきたない」、結果は「きたない」となり残念、きれいな川にしたい。
- ・わからない生物も捕まえられて楽しかった。

【学校関係者からの意見】

・お忙しい中、たいへんお世話になりました。今回の2つの体験を通して、小俣川の水質について理解するだけでなく、自分たちのふるさとの川を美しく守っていきたいという願いをもつことができました。児童は思ったより川が汚れていることにショックだったようです。また、このことを家庭でも話題にできたところが多かったようです。

【今後の課題・課題への提案】

- ・農業排水の流入が多いため実際の河川水よりは汚れている感じがする。その辺の因果関係など、もう少し深く学ばせてあげられるといいと思った。
- ・4年生でのパックテストは少し難しく、失敗も多いので、うまくいくために何か工夫できるといいと思った。

【担当者として得たもの】

・今回はじめて、児童自らが考えてとりまとめが行われ、このような進め方もいいとおもった。



一生懸命とりくむことができました



児童の司会によるカワゲラウォッチング結果のとりまとめ



どの色に変わるかな。


所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	高橋 君治	内 線	322
支援校名	美濃市立中有知小学校	担当教員名	山口先生	対象学年	4年生

【児童のみなさんから素敵なお礼のお手紙をいただきました】



美濃市立中有知小学校 4年生

高橋さんへ
 高橋さん、パックテストの時、カワゲラウォッチングの時に上手に分かりやすくお話をしてくださってありがとうございました。わたしは初めのカワゲラウォッチングの日、小俣川の水は少しきれいなのかきたないのが、早く調べたくてドキドキしていました。でもカワゲラウォッチングの日は小俣川の水は綺麗で良かったのでとても嬉しかったです。これからは小俣川が楽しくなるようにごみそでないようにしたいです。
 これからもみんなががんばってきれいにします。
 中有知小学校4年
 平田 まなか



報告様式

土木事務所名 (美濃 土木事務所)

土木事務所担当者名	高橋 君治	内線	322
支援学校名	美濃市立藍見小学校	Tel.	0575-33-1116
担当教員名	榊井先生		
対象学年	4年生 31名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
22/ 4	4月16日(金) 美濃市役所をつうじて総合学習支援の意向調査	【機関・団体名】 帝国建設コンサルタント 【連携内容】 講師、採補指導	
5	5月25日(火) 小学校より支援依頼		
	5月31日(月) ヤマリン使用予約		
6	6月3日(木) 小学校にて打合せ		
	6月3~4日 講師日程調整		
	6月7日(月) 渡来川において総合学習 (カワゲラウォッチング)		
7	6月18日(金) 藍見小学校にて総合学習 (パックテストの授業)		
8			
9			
10			
11			
12			
23/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	高橋 君治	内 線	322
支援校名	美濃市立藍見小学校	担当教員名	榊井先生	対象学年	4年生

【事例概要】

日時 6月7日(月) 午前
 内容 総合学習(カワゲラウォッチング)
 場所 渡来川

日時 6月18日(金) 午前
 内容 総合学習(パケットスの授業)
 場所 藍見小学校

【工夫した点、苦労した点】
 ・ヤマリンのサプライズ登場

【子供達の反応】

・子ども達は、朝からカワゲラウォッチングを楽しみにして、足が地に着いていないような児童もいました。

・カワムツやヨシノボリ・サワガニなどを普段捕まえたことがない児童がほとんどでした。捕まえたことの喜びと自分で飼ってみたいという思いを抱いている児童が多く、家に持って帰りたいがる児童が多かったです。しかし、命を大切にするために、エアポンプのある学校の大きな水槽で飼うことになり、毎日、エサをあげて育てています。

・また、カワゲラウォッチング当日は、ヤマリンのスペシャル・サプライズゲストも来て頂き、子ども達は、大喜びでした。

【学校関係者からの意見】

・昨年同様、多くの方に来て頂き、安全面や事前の準備等、配慮が行き届いていてとてもありがたかったです。

・魚の捕まえ方も網を投げて捕まえる方法やカゴを仕掛けておいて捕まえる方法やたもを使って捕まえる方法などいろいろな方法を教えて頂き、子ども達の興味関心が高まりました。

・パケットスの学習で川の水をきれいにしていこうという意識をもったり、藍見の自然を守っていくためには、どんなことが自分としてできるかを考えたりできました。

【今後の課題・課題への提案】

・川の汚れる原因やきれいな川を守ることに ついてなどに話を広げられるとなおいいと思う。

【担当者として得たもの】

・比較的多くの種が採捕できたため、より知識を深めることができた。



ヤマリンも応援



腰まで、胸まで浸かって採捕



パケットスの授業

報告様式

土木事務所名 (郡上 土木事務所)

土木事務所担当者名	松本 省吾	内線	342
支援学校名	郡上市立明宝小学校	Tel.	0575-87-2132
担当教員名	羽田野先生・後藤先生		
対象学年	4年生 27名		
年月	タイムテーブル		学校以外の連携機関
22/ 4			【機関・団体名】
5			
6			【連携内容】
7	7月30日(金) 明宝小学校と第1回打ち合わせ(小学校)		
8	8月19日(木) 明宝小学校と第2回打ち合わせ(小学校)		
9	9月2日(木) 総合学習実施 砂防えん堤、魚道の役割を教室にて説明(小学校) 砂防えん堤と魚道を見学(上坂本坂本えん堤)		
10			
11			
12			
23/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課	氏 名	松本 省吾	内 線	342
支援校名	郡上市立明宝小学校	担当教員名	羽田野先生・後藤先生	対象学年	4年生

【事例概要】9月2日(木)

8:40～9:30(教室) 明宝小学校

『土石流と砂防えん堤の役割、魚道について』説明

10:10～11:20(現地調査) 吉田川(上坂本魚道)

魚道内の観察(遡上状況、流速測定)、えん堤周辺の魚の捕獲(投網)、魚とのふれあい

【工夫した点、苦労した点】

・砂防えん堤の必要性について、パワーポイントや動画により分かりやすく説明しました。

・移動のバスの中でも途中に点在する砂防えん堤を紹介して、身近にあるえん堤の存在を知っていただいた。

・事前に危険箇所を確認し、ロープ等で安全対策や人の配置を行なった。

【子供達の反応】

・いつも身近にあった砂防えん堤とそこに作られている魚道のしくみを理解することができ、どの子も関心していた。

・実際の土石流の映像をみせることで、その災害の怖さを理解してもらえた。

・我々が砂防えん堤を管理していることが、土石流から自分たちの生活を守ってくれていることと感謝していた。

【学校関係者からの意見】

・吉田川という美しい川が近くにあり、恵まれた環境が身近にあることを認識した。その中で砂防えん堤や魚道といった施設に関心を持つことが出来ました。

・細部にわたって工夫していただき、子どもたちの安全を考えながらも学習を大事にいただいたので、子どもたちなりに勉強できたと思います。

【今後の課題・課題への提案】

・今回無事故で終わることが出来たが、施設周辺には危険も多いことから、今後は事故発生時の対応等を学校サイドと十分に整理し、管理責任範囲を明確にしておきたい。

【担当者として得たもの】

・安全面での更なる徹底を図る必要性を痛感した。

・今後は、より安全な室内学習で何が出来るか学校サイドと調整していきたい。

・他事務所にも安全面の責任の明確化を学校とするよう強く進める。



教室にて、パワーポイントにより砂防えん堤、魚道について説明。



アマゴの遡上や流速を測ったりして、魚道の中の様子を観察しました。



砂防えん堤の下で投網の実演を行い、採れたアマゴを観察しています。この後アマゴのつかみ取りを行ない、魚の感触を体験しました。

所 属	河川砂防課	氏 名	松本 省吾	内 線	342
支援校名	郡上市立明宝小学校	担当教員名	羽田野先生・後藤先生	対象学年	4年生

【新聞記事等】

平成 22 年 9 月 6 日(月) 明宝小学校 4 年学年通信



いっせーのー

2010. 9. 6 (月)

4年学年通信

「上坂本砂防堰堤と魚道」を見学してきました

土木事務所の方に、土石流の現象や災害実績を見ながら、「砂防堰堤がなぜ必要なのか。いったいどんな施設なのか。」「魚道はなぜ作られたのか。どのような施設なのか。」の説明をしていただきました。見学する前に、学習のめあてをはっきりさせてから出かけました。堰堤と魚道の役割を知り、水域環境・生態系の保全・復元の大切さも理解してほしいと土木事務所の方が言っていました。

子どもたちは、3つのことを学習しました。

- ① **瀬上の観察** : 魚道に設置されている観察窓で魚の遡上を観察し、魚の行動や魚道の仕組みを見学しました。その後、アマゴの手づかみを行い、魚の動きの速さを体験しました。
- ② **魚道の水理** : スーパーボールを魚道に流し、水の速さを流速計で測り、同じように見えても場所によって速さが違うことを知りました。
(魚道) …スパイラル 2連トラック式…
- ③ **投網の実演** : 投網の実演を見せていただきました。川の流れの速さも計測しました。魚を獲ることは難しかったです。魚も必死で生きているのです。



古田川に砂防堰堤や魚道があることを知らなかった？ 知っていても興味を持って見なかった？ 毎日バスに乗って見えるところなのに… 学習することで初めて役割を理解することができました。私たちの生活を守っている砂防堰堤、魚を守る魚道！それを管理する人がみえることも知りました。洪水になり石や流木がつまってしまうと機能しなくなることも多いそうです。自然との関わりを大切にしながら川の環境を守っていくことは簡単なことではありません。



所 属	河川砂防課	氏 名	松本 省吾	内 線	342
支援校名	郡上市立明宝小学校	担当教員名	羽田野先生・後藤先生	対象学年	4年生

【新聞記事等】

平成 22 年 9 月 8 日(水) 明宝小学校 4 年学年通信



いっせーのー

2010. 9. 8 (水)

4年学年通信

「上坂本砂防堰堤と魚道」の感想

砂防えんていは、人や家などを守るためにあると知りました。でも、えんていがあると魚は上に行けないから、魚が行けるようにするのが魚道の役目だと初めて知りました。それをつくっている人達が、ささえてくれているからありがとうございますと言いたいです。

砂防えんていは、家を守っていたことが分かりました。魚道は、魚が上に行ったり下りたりするために、だんさをつけるとは知らなかったけど、今日行ってきて魚道や砂防えんていが何のためにあるのかを知ることができてよかったです。

魚道は、砂防えんていで行ったりもどったりできないので作られたと分かりました。土石流で町や村が大きなひがいが起きないように作られたのです。土石流はこわいです。砂防えんていを作った人ありがとうございますと言いたいです。

砂防えんていは、土石流を止めるためにあってとてもきんだということが分かりました。魚道を上る魚はすごく大変そうで、なかなか上れないみたいでした。最初は両方ともある意味をまったく知らなかったけど、どちらもみんなのためにあるということを知りました。魚道は3種類くらいあってどれも魚が通りやすいように、流れのおそいところとと速いところで分けてあるなど工夫がたくさんしてあってすごいと思いました。

魚道の速さの記録を測ってみたら、けっこう速くて上の階段を通る魚や下の階段を通る魚達は、流れが速くても10m～15mの魚道を流っていくので、とてもすごいと思いました。魚道が海や川へもどったりできるように魚道を作った工夫はすごいと思いました。



水の速さを測ってみました



体験したことの感想発表！
大きな声でできました

運動会の練習で力いっぱい声を出して応援する子、リレーや70メートル走で第一杯走りきる子などいい姿がたくさん見られます。このごろ気になることは、教科書やノートなどの忘れものです。学習する時、困ります。全く忘れものがない子もいますが、夏休み明け多いと思う子は気を引き締めていきましょう。 おうちの方も声をかけていただくとうれしいです。よろしくお願ひします。

土木事務所担当者名	遠藤 浩	内線	325
支援学校名	七宗町立神淵小学校	Tel.	0574-46-1210
担当教員名	渡辺先生		
対象学年	4年生 11名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
22/4		【機関・団体名】 七宗町農林建設課	
5	5月26日(水) 16:00より神淵小学校にて、支援内容等について打合せ		
6	6月1日(火) 総合学習 13:50～15:10 学習場所:神淵川 水生生物調査(カワゲラウォッチング)	【連携内容】 総合学習支援の援助	
	6月2日(水) 総合学習 13:50～14:35 学習場所:神淵小学校理科教室 水生パックテストによる水質検査 川の水生生物の種類と水のきれいさについて 急な増水など川の危険性について		
7			
8			
9			
10			
11			
12			
23/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	遠藤 浩	内 線	325
支援校名	七宗町立神淵小学校	担当教員名	渡辺先生	対象学年	4年生

【事例概要】

6月1日(火) 総合学習 13:50～15:10
 学習場所:神淵川
 水生生物調査(カワゲラウォッチング)

6月2日(水) 総合学習 13:50～14:35
 学習場所:神淵小学校理科教室
 パックテストによる水質検査
 川の水生生物の種類と水のきれいさについて
 急な増水など川の危険性について

【工夫した点、苦労した点】

- ・児童が安全に水面へ降りられるよう、仮設の階段工を設置した。
- ・川の深み流れの急な場所に児童が行かないよう、事前にポール等で調査範囲を明示した。

【子供達の反応】

- ・神淵川には、色々な種類の生物がたくさん棲んでいる。
- ・きれいな川を守るためには、みんなが協力しなければならぬ。

【学校関係者からの意見】

- ・水生生物調査について、校舎内での学習と異なり、自然と触れ合う機会を与えられ、児童達は生き生きと学ぶことができた。

【担当者として得たもの】

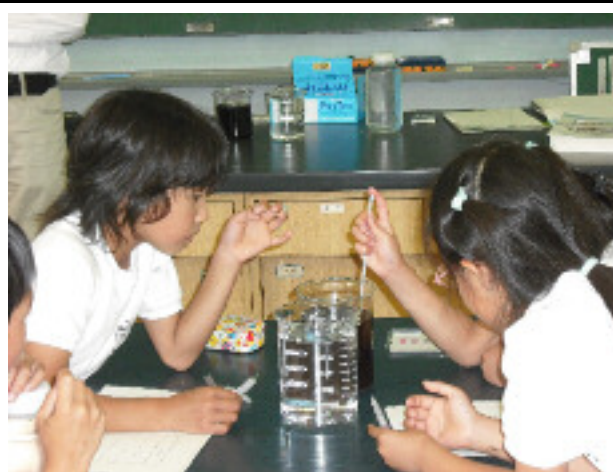
- ・支援後には、児童たちから感謝のお礼状をいただき、支援の意義を実感した。



水生生物調査(カワゲラウォッチング)の様子



「川をきれいに」をテーマにした環境学習の様子



パックテストによる水質検査の様子

報告様式

土木事務所名 (多治見 土木事務所)

土木事務所担当者名	中島 紀代	内線	320
支援学校名	瑞浪市立瑞浪小学校	Tel.	0572-68-4535
担当教員名	藤井先生		
対象学年	5年生 68名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
22/ 4			
5			
6			
7			
8			
9			
10	9月29日(水) 体験学習(万尺川) 10月6日(水) 体験学習(万尺川)	多治見市土岐川観察館	
11			
12			
23/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課	氏 名	中島 紀代	内 線	320
支援校名	瑞浪市立瑞浪小学校	担当教員名	藤井先生	対象学年	5年生

【事例概要】

日時 9月29日(水) 午前
 内容 生き物調査、自然災害について
 場所 万尺川

【工夫した点、苦労した点】

急に深くなっている箇所があるため、子どもたちの安全に気を配った。

【子供達の反応】

こわごわ川に入っていた子どもも、だんだん夢中になって、移動していた。

【学校関係者からの意見】

身近な川の様子やそこに生息している生物について学ぶことができる良い機会になった。

【今後の課題・課題への提案】

子どもたちへの説明にあたっては、専門用語をわかりやすくするよう工夫を検討していきたい。

川に親しみを持ってもらうと同時に、川の怖さも知ってもらおう、話をしていきたい。

【担当者として得たもの】

子どもたちの野外活動及び生き物への好奇心の強さを感じた。



【生き物調査】

川に入る前に、道具の使い方などの注意点を話しました。



【生き物調査】

万尺川に入り、どんな生き物が生息しているのか調査しました。



【自然災害について】

自然災害や川の施設の必要性、日頃の注意点等を話しました。

所 属	河川砂防課	氏 名	内藤 英徳	内 線	320
支援校名	瑞浪市立瑞浪小学校	担当教員名	藤井先生	対象学年	5年生

【事例概要】

日時 10月 6日(水) 午前 10:00 ~ 12:00
 内容 生き物調査、自然災害について
 場所 万尺川

【工夫した点、苦労した点】

川の中を移動する生徒たちがつまづいたり、溺れたりしないように、河床の状況を注意しながら子どもたちの安全に気を配った。

【子供達の反応】

魚の種類や生態についても関心が高く、多くの質問を受けた。

【学校関係者からの意見】

身近な川の様子やそこに生息している生物について学ぶことができ、そこから河川環境について考える良い機会になった。

【今後の課題・課題への提案】

生徒への説明にあたっては、分かりやすいように紙芝居や模型などを使って説明する工夫を検討していきたい。

また、自然環境と自然災害から生命・財産を守る河川整備をバランスよく両立させることが大事であると伝えていきたい。

【担当者として得たもの】

子どもたちの野外活動及び生き物への好奇心の強さを感じた。自然環境の学習は何よりもまず現場に入って観察することが第一だと思った。



【生き物調査】

川に入る前に、道具の使い方などの注意点を話しました。



【生き物調査】

万尺川に入り、どんな生き物が生息しているのか調査しました。



【自然災害について】

自然災害や川の施設の必要性、日頃の注意点等を話しました。

報告様式

土木事務所名 (多治見 土木事務所)

土木事務所担当者名	伊藤昌志・水野貴仁	内線	320
支援学校名	多治見市立根本小学校	Tel.	0572-20-0122
担当教員名	熊崎先生		
対象学年	4年生 126名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
22/4			
5			
6			
7			
8			
9			
10	10月1日(金) ガサガサ探険隊(大原川)	多治見市土岐川観察館	
11			
12			
23/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	伊藤昌志・水野貴仁	内 線	320
支援校名	多治見市立根本小学校	担当教員名	熊崎先生	対象学年	4年生
<p>【事例概要】</p> <p>大原川ガサガサ探険隊</p> <p>場所: 多治見市根本町</p> <p>10月1日(金) 9:30 ~ 12:00</p> <p>テーマ「ガサガサ探険」</p> <p>魚類調査の方法、河川砂防施設の必要性等について生徒たちに説明した。</p> <p>ガサガサ探険</p> <p>調査箇所を2箇所に分け、ガサガサ探険を行った。</p> <p>水質調査・生物の確認</p>					
<p>【工夫した点、苦労した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供たちが元気であったため、監視等に気を配った。 ・写真パネルを多く使い、出来る限りイメージを伝えやすくした。 		<p>【川の話进行こう】</p> <p>川の生態や、ガサガサ探険の注意点等について解説しました。</p>			
<p>【子供達の反応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供たちは元気に楽しみながら、魚を捕まえていた。 <p>魚の種類や生態についても興味・関心が非常に高く、様々な質問が多く出ました。</p>					
<p>【学校関係者からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供たちは、河川環境等について学ぶ良い機会になった。 ・多くの方にサポートしていただきながら調査できたので安全に観察ができた。 		<p>【ガサガサ探険】</p> <p>落差工の上下流2箇所にわかれてガサガサ探険を行いました。</p>			
<p>【今後の課題・課題への提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供たちの目線からの意見を聞くことによって、河川の成り立ちや施設について日頃気を配らないようなことに気づかされた。 					
		<p>【水質調査・生物の確認について】</p> <p>水質調査や PH 等の調査をしました。</p>			

報告様式

土木事務所名 (多治見 土木事務所)

土木事務所担当者名	山野 晃裕	内線	320
支援学校名	多治見市立池田小学校	Tel.	0572-22-0883
担当教員名	浅野先生		
対象学年	4年生 54名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
22/4			
5			
6			
7			
8			
9			
10	10月5日(火) 体験学習(大原川)	多治見市土岐川観察館	
11			
12			
23/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課	氏 名	山野 晃裕	内 線	320
支援校名	多治見市立池田小学校	担当教員名	浅野先生	対象学年	4年生

【事例概要】

日時 10月5日(火) 午前

内容 生き物調査、水質調査、自然災害について

場所 大原川



【工夫した点、苦労した点】

流れが速くなったり、急に深くなっている箇所があるため、子どもたちの安全に気を配った。

【生き物調査】

大原川に入り、どんな生き物が生息しているのか調査しました。

【子供達の反応】

元気に楽しみながら魚などを捕まえていた。川に入るのが楽しそうだった。



【学校関係者からの意見】

身近な川の様子やそこに生息している生物について学ぶことができる良い機会になった。

【水質調査】

大原川の水温、pH、COD、透視度を調査しました。

【今後の課題・課題への提案】

子どもたちから捕まえた生き物の名前を聞かれたりしても、答えられないことがあった。



【担当者として得たもの】

子どもたちにわかりやすく話をするにあたり、改めて川の成り立ちや、災害の怖さ、施設の目的など見直すことができた。

【自然災害について】

自然災害や川の施設の必要性、日頃の注意点等を話しました。

報告様式

土木事務所名 (恵那 土木事務所)

土木事務所担当者名	中島 広樹	内線	345
支援学校名	恵那市立岩邑小学校	Tel.	0573-43-2515
担当教員名	国枝先生		
対象学年	4年生 49名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
22/4		【機関・団体名】	
5	5月上旬 岩村ダム見学、岩村川水生生物調査(カワゲラウォッチング)の依頼を受ける。	【連携内容】	
	5月中旬～6月上旬 岩村ダム見学について、日程等の調整を行う。		
6	6月14日(月) 岩村ダム見学会(ダムの多目的な機能、仕組みの説明、ダム内施設の案内)		
	6月下旬～7月上旬		
7	岩村川水生生物調査について日程等の調整を行う。		
	7月6日(火) 岩村川にて水生生物調査を実施する。		
8			
9			
10			
11			
12			
23/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	中島 広樹	内 線	345
支援校名	恵那市立岩邑小学校	担当教員名	国枝先生	対象学年	4年生

【事例概要】

1. 岩村ダム見学会(6月14日(月))
土木事務所職員の案内によりダム内の施設(操作室、ダム堤体内)を見学し、ダムの多目的な機能(洪水調節、流水維持、利水)、ダムの仕組みについて4年生児童が学習した。
2. 岩村川水生生物調査(7月6日(火))
身近な川を通じ、自然環境の大切さや川の豊かさについて4年生児童が学んだ。



岩村ダム見学会(事務室にて)

【工夫した点、苦労した点】

- ・ 監査廊内での見学时、水生生物調査時の児童の安全管理
- ・ 水生生物に関する知識があまりなく、児童の質問に十分答えられなかった。

【子供達の反応】

- ・ ダム監査廊に入ってもらい、ダム見学を楽しんでいた。
- ・ 水生生物調査では、川にたくさんの生き物がいることを知り、河川に対して親しみを持ったようである。
- ・ 元気よくいろいろな質問や発言をしていた。



水生生物調査(岩村川にて)

【学校関係者からの意見】

- ・ 岩村ダムに対する理解も深まり、岩村川の現状を知ることによって、環境を守ろうとする意識が育ってくれたと思う。

【今後の課題・課題への提案】

- ・ 生徒に分かりやすく説明できるように、河川・環境等の知識を増やす。

【担当者として得たもの】

- ・ 生徒と共に行動することにより「川の魅力」を再認識できた。



水生生物調査(岩村川にて)

所属	河川砂防担当	氏名	中島 広樹	内線	345
支援校名	恵那市立岩邑小学校	担当教員名	国枝先生	対象学年	4年生

【新聞記事等】

中日新聞 朝刊 東濃版

平成 22 年 6 月 16 日(水)

平成 22 年 7 月 9 日(金)

児童が興味津々
岩村ダムを見学

恵那・岩邑小
恵那市岩邑小学校の
四年生が十四日、岩村
町内にある興営岩村ダ
ムなどを見学。ダム本
体内部に設けられたト
ンネル「監査廊」を見

て回るなどしながら水
利用について学んだ。
写真。

岩村ダムは、町内を
流れる富田川の上流部
に一九九八年完成した
多目的ダム。児童四十
九人は、県恵那土木事
務所の職員からダムの
建設目的や概要の説明

た児童は「涼しい、ダ
ム本体中央部の常用供
水吐から流れ出る水を
眺め「生クリームみた
い」と声を上上げて
いた。

（保母哲）



岩村川で虫や魚を採取する
児童ら—恵那市岩村町で

岩村川の生物
ウオッチング

水生生物を通して身
近な河川の環境を知る
「カワゲラウオッチン
グ」が六日、恵那市岩
村町の岩村川であっ
た。岩邑小学校の四年
生四十九人が取り組ん
だ結果、岩村川は「ど
ちらかというとききれ
いな川」となった。

総合学習の授業で、
県恵那土木事務所の職
員六人が指導にあたっ
た。児童たちはたもで
川にすむ虫や魚を捕っ
たり、川底の石を裏返
して石に付いている虫
を採取。水中眼鏡で観
察したりした。

採取した虫などは種
類ごとに分類。きれ
いな水に生息しているカ
ワゲラやサワガニ、ヘ
ビトンボなどが多く、
少し汚い水にいるカワ
ニナやスジエビ、トビ

ケラなども見つかった。
（保母哲）

報告様式

土木事務所名 (恵那 土木事務所)

土木事務所担当者名	川出 真嗣	内線	346
支援学校名	恵那市立中野方小学校	Tel.	0573-23-2004
担当教員名	平井先生		
対象学年	4年生 11名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
22/ 4		【機関・団体名】 恵那市	
5	5月26日(水) 恵那市企画部を通じて土木事務所に依頼。	【連携内容】	
6	6月8日(火) 中野方ダムにて実施。		
7	・ ダム管理事務所にて、ダムの役割の説明。 ・ 施設内の案内(取水塔、ポンプ室、提体内監査廊)		
8			
9			
10			
11			
12			
23/1			
2			
3			

所 属	恵那土木事務所	氏 名	川出 真嗣	内 線	346
支援校名	恵那市立中野方小学校	担当教員名	平井先生	対象学年	4年生

【事例概要】

多目的ダムとして建設された「中野方ダム」にて役割についての考察、施設見学を含めた総合学習。

【工夫した点、苦労した点】

ダムの規模・効果を子供達の身近なものに置き換えて説明した。

【子供達の反応】

ダムがあることは知っていてもその仕組みを知ることにはあまりなく興味を示していた。また、普段は入れない堤体内の見学も楽しんでいった。

【学校関係者からの意見】

次年度以降の継続要望。

【今後の課題・課題への提案】

特になし

【担当者として得たもの】

技術的なことを小学生の立場になって説明するスキル。



管理棟での説明



操作室見学



堤体内監査廊見学

報告様式

土木事務所名 (下呂 土木事務所)

土木事務所担当者名	宇田 将隆	内線	323
支援学校名	下呂市立小坂小学校	Tel.	0576-62-2724
担当教員名	野村先生		
対象学年	4年生 12名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
22/ 4		【機関・団体名】 ・ 下呂市環境課	
5			
6		【連携内容】	
7	6月7日(月) 「下呂市環境課と打合せ」 市環境課のカワゲラウォッチング実施計画表により、土木との共催を依頼する。		
8	7月8日(木) 「小坂・大洞川 カワゲラウォッチング・砂防事業説明実施」		
9			
10			
11			
12			
23/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課	氏 名	宇田 将隆	内 線	323
支援校名	下呂市立小坂小学校	担当教員名	野村先生	対象学年	4年生

【事例概要】

7月8日(木) 13:00～14:30

「カワゲラウォッチング」
小坂・大洞川で実施

同日 14:30～14:50

「砂防について」
パネルを使い砂防事業について説明
「河川水難事故防止について」
川で遊ぶ際についての注意点について説明



「カワゲラウォッチング」
川の中に入って、水生生物を観察しました。

【工夫した点、苦労した点】

- ・ パネルを作成し、屋外でできるようにした。
- ・ パネルに絵を多く使い、目で見てわかるようにした。

【子供達の反応】

- ・ カワゲラウォッチングでは、多くの水生生物が川の中に棲んでいることを知り、また小坂・御洞川がきれいな川であることを認識できた様子であった。
- ・ 土石流の危険性やどのような場所が危険なのか真剣に聞きいていた。
- ・ 川で遊ぶときには、雨に注意する等の注意点を認識してもらえた。



「カワゲラウォッチング」
水生生物を捕獲し、記録しました。

【学校関係者からの意見】

- ・ 普段遊んでいる川に棲んでいる生物について子供達が興味を持ってよかった。
- ・ パネルでの説明だけは、こども達が理解するのは難しいようです。

【今後の課題・課題への提案】

- ・ パネルのみの説明では、子供たちに理解してもらうのは難しいため、模型等使い、河川・砂防について紹介するとより理解が深まると思う。



「砂防について」
屋外にて、パネルを使って砂防の紹介をしました。

【担当者として得たもの】

- ・ 川の環境について、捕まえた虫をとおして子供達が興味を持ち、理解してもらえたようです。
- ・ 砂防について、地元の方に知らせる重要性を再認識できた。

報告様式

土木事務所名 (下呂 土木事務所)

土木事務所担当者名	後藤 智之	内線	322
支援学校名	下呂市立中原小学校	Tel.	0576-55-0010
担当教員名	早川先生		
対象学年	4年生 8名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
22/ 4		【機関・団体名】 ・ 下呂市環境課	
5			
6		【連携内容】	
7	6月7日(月) 「下呂市環境課と打合せ」 市環境課のカワゲラウォッチング実施計画表により、土木との共催を依頼する。		
8	7月7日(水) 「門和佐川 カワゲラウォッチング・砂防事業説明実施」		
9			
10			
11			
12			
23/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課	氏 名	後藤 智之	内 線	322
支援校名	下呂市立中原小学校	担当教員名	早川先生	対象学年	4年生

【事例概要】

7月7日(水) 13:00～14:30

「カワゲラウォッチング」
門和佐川で実施

同日 14:30～14:50

「砂防について」
パネルを使い砂防事業について説明
「河川水難事故防止について」
川で遊ぶ際についての注意点について説明



「カワゲラウォッチング」
水生生物を捕獲・観察しました。

【工夫した点、苦労した点】

- ・ パネルを作成し、屋外でできるようにした。
- ・ パネルに絵を多く使い、わかりやすくした。

【子供達の反応】

- ・ カワゲラウォッチングでは、きれいな水と少し汚れた水に生息する生物の両方が確認され、生活排水の影響について説明を聞いていた。
- ・ 土砂災害の危険性や避難の方法について真剣に聞きいていた。



「カワゲラウォッチング」
水生生物を捕獲・分類し、水質がきれいか考察しました。

【学校関係者からの意見】

- ・ 身近な川の生物について子供達が興味を持ってよかった。
- ・ 砂防については、少し内容が難しいようでした。

【今後の課題・課題への提案】

- ・ パネルのみの説明では、内容的に子供たちに理解してもらうのは難しいため、模型を使うなどの工夫が必要と思われる。



「砂防について」
パネルを使用して砂防事業や避難の方法について説明しました。

【担当者として得たもの】

- ・ 身近な川の環境と生活のつながりについて、興味を持っていただけました。
- ・ 土砂災害の危険性について知って頂くことが重要であると感じた。

報告様式

土木事務所名 (下呂 土木事務所)

土木事務所担当者名	宇田 将隆	内線	323
支援学校名	下呂市立菅田小学校	Tel.	0576-33-2006
担当教員名	長瀬先生		
対象学年	5～6年生 12名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
22/ 4		【機関・団体名】 ・ 下呂市環境課	
5			
6		【連携内容】	
7	6月7日(月) 「下呂市環境課と打合せ」 市環境課のカワゲラウォッチング実施計画表により、土木との共催を依頼する。		
8	7月5日(月) 「菅田川 カワゲラウォッチング・砂防事業説明実施」		
9			
10			
11			
12			
23/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課	氏 名	宇田 将隆	内 線	323
支援校名	下呂市立菅田小学校	担当教員名	長瀬先生	対象学年	5~6年生

【事例概要】

7月5日(月) 10:30~11:00

「カワゲラウォッチング」
菅田川で実施

同日 11:00~11:30

「砂防について」
パネルを使い砂防事業について説明
「河川水難事故防止について」
川で遊ぶ際についての注意点について説明



【工夫した点、苦労した点】

- ・ パネルを作成し、屋外でできるようにした。
- ・ パネルに絵を多く使い、目で見てわかるようにした。

「カワゲラウォッチング」
川の中に入って、水生生物を観察しました。

【子供達の反応】

- ・ カワゲラウォッチングでは、多くの水生生物が川の中に棲んでいることを知り、また山之口川がきれいな川であることを認識できた様子であった。
- ・ 土石流の危険性やどのような場所が危険なのか真剣に聞き取っていた。
- ・ また、家が川の近くにある子供もいたらしく、危険であることを認識してもらえた。



「カワゲラウォッチング」
水生生物を捕獲し、記録しました。

【学校関係者からの意見】

- ・ 普段遊んでいる川に棲んでいる生物について子供達が興味を持ってよかった。
- ・ パネルでの説明だけは、こども達が理解するのは難しいようです。

【今後の課題・課題への提案】

- ・ パネルのみの説明では、子供たちに理解してもらうのは難しいため、模型等使い、河川・砂防について紹介するとより理解が深まると思う。



「砂防について」
屋外にて、パネルを使って砂防の紹介をしました。

【担当者として得たもの】

- ・ 川の環境について、捕まえた虫をとおして子供達が興味を持ち、理解してもらえたようです。
- ・ 砂防について、地元の方に知らせる重要性を再認識できた。

報告様式

土木事務所名 (下呂 土木事務所)

土木事務所担当者名	宇田 将隆	内線	323
支援学校名	下呂市立尾崎小学校	Tel.	0576-55-0010
担当教員名	河田先生		
対象学年	4年生 21名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
22/ 4		【機関・団体名】 ・ 下呂市環境課	
5			
6		【連携内容】	
7	6月7日(月) 「下呂市環境課と打合せ」 市環境課のカワゲラウォッチング実施計画表により、土木との共催を依頼する。		
8	6月24日(木) 「山之口川 カワゲラウォッチング・砂防事業説明実施」		
9			
10			
11			
12			
23/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課	氏 名	宇田 将隆	内 線	323
支援校名	下呂市立尾崎小学校	担当教員名	河田先生	対象学年	4年生

【事例概要】

6月24日(木) 13:00~14:30

「カワゲラウォッチング」
山之口川で実施

同日 14:30~14:50

「砂防について」
パネルを使い砂防事業について説明
「河川水難事故防止について」
川で遊ぶ際についての注意点について説明



「カワゲラウォッチング」
川の中に入って、水生生物を観察しました。

【工夫した点、苦労した点】

- ・ パネルを作成し、屋外でできるようにした。
- ・ パネルに絵を多く使い、目で見てわかるようにした。

【子供達の反応】

- ・ カワゲラウォッチングでは、多くの水生生物が川の中に棲んでいることを知り、また山之口川がきれいな川であることを認識できた様子であった。
- ・ 土石流の危険性やどのような場所が危険なのか真剣に聞きいていた。
- ・ また、家が川の近くにある子供もいたらしく、危険であることを認識してもらえた。



「カワゲラウォッチング」
水生生物を捕獲し、記録しました。

【学校関係者からの意見】

- ・ 普段遊んでいる川に棲んでいる生物について子供達が興味を持ってよかった。
- ・ パネルでの説明だけは、こども達が理解するのは難しいようです。

【今後の課題・課題への提案】

- ・ パネルのみの説明では、子供たちに理解してもらうのは難しいため、模型等使い、河川・砂防について紹介するとより理解が深まると思う。

【担当者として得たもの】

- ・ 川の環境について、捕まえた虫をとおして子供達が興味を持ち、理解してもらえたようです。
- ・ 砂防について、地元の方に知らせる重要性を再認識できた。



「砂防について」
屋外にて、パネルを使って砂防の紹介をしました。

報告様式

土木事務所名 (下呂 土木事務所)

土木事務所担当者名	大坪 和裕	内線	322
支援学校名	下呂市立馬瀬小学校、馬瀬中学校	Tel.	0576-47-2111
担当教員名	下呂市主催		
対象学年	小学1年生～中学3年生 12名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
22/ 4		【機関・団体名】 ・ 下呂市環境課	
5			
6		【連携内容】	
7	6月7日(月) 「下呂市環境課と打合せ」 市環境課のカワゲラウォッチング実施計画表により、土木との共催を依頼する。		
8	7月28日(水) 「馬瀬川 カワゲラウォッチング・砂防事業説明実施」		
9			
10			
11			
12			
23/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課	氏 名	大坪 和裕	内 線	322
支援校名	下呂市立馬瀬小学校、馬瀬中学校	担当教員名	(下呂市)	対象学年	小学1年生～ 中学3年生

【事例概要】

7月28日(水) 9:00～11:30

「カワゲラウォッチング」
馬瀬川で実施

同日 11:30～11:50

「砂防について」
パネルを使い砂防事業について説明
「河川水難事故防止について」
川で遊ぶ際についての注意点について説明



「カワゲラウォッチング」
川の中に入って、水生生物を観察しました。

【工夫した点、苦労した点】

- ・ パネルを作成し、屋外でできるようにした。
- ・ パネルに絵を多く使い、目で見てわかるようにした。



「カワゲラウォッチング」
水生生物を捕獲し、記録しました。

【子供達の反応】

- ・ カワゲラウォッチングではカワゲラ、カゲロウ類など、きれいな水に生息する生物が確認され、水質の良さを実感していた。
- ・ 土砂災害の危険性について真剣に聞き取っていた。
- ・ 身近なところに土砂災害の危険箇所があることを認識してもらえた。

【学校関係者からの意見】

- ・ 子供たちに身近な川に生息している生物について興味を持ってもらえた。
- ・ パネルでの説明だけは、こども達が理解するのは難しいようです。

【今後の課題・課題への提案】

- ・ 砂防について、パネルのみの説明では全て理解してもらうのが難しいようでした。模型等使って紹介すると、より理解が深まると思う。



「砂防について」
屋外にて、パネルを使って砂防の紹介をしました。

【担当者として得たもの】

- ・ 川の環境について、捕まえた虫をとおして子供達が興味を持ち、理解してもらえたようです。
- ・ 砂防について、地元の方に知らせる重要性を再認識できた。

報告様式

土木事務所名 (高山 土木事務所)

土木事務所担当者名	高島 明	内線	382
支援学校名	高山市立清見小学校	Tel.	0577-68-2116
担当教員名	川上先生		
対象学年	3～4年生 52名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
22/5	<p>高山市役所(生活環境課)をとおして高山市の小学校で自然について総合学習をする学校がないか探してもらう。</p> <p>総合学習についてカワゲラウォッチングを実施する小学校があるため、同時間に砂防についても学習できるか検討。</p> <p>高山市立清見小学校でカワゲラウォッチング及び砂防について総合学習を行うことを決定。</p>	<p>【機関・団体名】 高山市役所 飛騨振興局</p> <p>【連携内容】 開催小学校の決定 道具手配 カワゲラウォッチング説明</p>	
7	7月1日(木)		
8	総合学習を行う。		
9			
10			
11			
12			
23/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課	氏 名	高島 明	内 線	382
支援校名	高山市立清見小学校	担当教員名	川上先生	対象学年	3~4年生

【事例概要】

7月1日(木) 9:30~11:00 総合学習
 学習場所:高山市清見町福寄 中ノ島公園(川上川)
 「カワゲラウォッチング」
 「土砂災害の危険について」

【工夫した点、苦労した点】

実際に高山市で起きた災害の状況写真を見せること
 によって自分達の住んでいる街の付近で発生したと
 いうことをわかってもらい、災害を身近に感じてもらう
 ようにしました。

川の流が速く脚を取られる心配がある箇所はスタ
 ップがよく注意して安全に行いました。

【子供達の反応】

土砂災害について災害写真を見せたとき、自分達
 の住んでいる街の付近で起きた災害ということで興味
 を持っていました。

普段見かけている標識(土石流危険渓流)が、どう
 いうものかわかった様子でした。

災害が起きた場合の心構えや大雨が降ったときは
 危険な場所に近づかないことなど分かってもらえた
 と思います。

カワゲラウォッチングでは、水生生物を捕まえること
 にみんなが積極的に参加できていました。

また、川上川はきれいな水に住む生物が多く川とし
 てはきれいな分類であることが確認出来たようです。

【今後の課題・課題への提案】

砂防という言葉は普段聞き慣れない言葉なので、も
 っと写真などを増やし事例を多く見せてわかってもら
 う必要があります。

【担当者として】

子供達も川や災害について考えるきっかけになっ
 たのではないかと思います。

いざというときのための準備や普段から雨などに注
 意してくれることを期待しています。

子供達に教えるという経験はなかなかできないため
 良い経験になりました。



<説明風景>
 パネルを使って説明をしました。みんな真剣に聞いて
 くれました。



土砂災害被害の様子を説明



カワゲラウォッチングの様子



水生生物を観察して
 いる様子

報告様式

土木事務所名 (高山 土木事務所)

土木事務所担当者名	高島 明	内線	382
支援学校名	高山市立南小学校	Tel.	0577-32-0013
担当教員名	森本先生		
対象学年	4年生 86名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
22/5	<p>高山市役所(生活環境課)をとおして高山市の小学校で自然について総合学習をする学校がないか探してもらう。</p> <p>総合学習についてカワゲラウォッチングを実施する小学校があるため、同時に河川についても学習できるか検討。</p> <p>高山市立南小学校でカワゲラウォッチング及び河川について総合学習を行うことを決定。</p>	<p>【機関・団体名】 高山市役所 飛騨振興局</p> <p>【連携内容】 開催小学校の決定 道具手配 カワゲラウォッチング説明</p>	
7	7月5日(月) 総合学習を行う。		
8			
9			
10			
11			
12			
23/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課	氏 名	高島 明	内 線	382
支援校名	高山市立南小学校	担当教員名	森本先生	対象学年	4年生

【事例概要】

7月5日(月) 9:00~11:00 総合学習
 学習場所: 高山市岡本町1丁目 岡本橋付近(苔川)
 「カワゲラウォッチング」
 「河川の危険について」

【工夫した点、苦労した点】

校区内にある河川標識の写真を使って説明するなど身近に感じてもらうように工夫しました。
 難しい言葉など使わないようにしました。
 図鑑に載っていない水生生物がいたため判別が難しかったです。

【子供達の反応】

暑い中でしたが、真剣に話を聞いていました。
 「災害に対する備え」についての話も理解できていたようです。

カワゲラウォッチングでは班ごとに協力し、水生生物を捕まえたり数えたりすることができていました。

ヒルなどあまり見た目の良くない生物も捕まえることができていました。

また、苔川は汚い水に住む生物もいますが、きれいな水に住む生物も生息していて川としてはきれいな分類になることが確認出来たようです。

【学校関係者からの意見】

学校の先生ではない人から教えてもらうことは印象に残りやすく、生徒が吸収しやすくてよいです。

【今後の課題・課題への提案】

川の流れる音に説明の声がかき消されるため、一番後ろの生徒まで聞き取れるようにする工夫が必要です。

【担当者として】

子供達が川や災害について考えるきっかけになったのではないかと思います。大人では気づかないような子供の視点で気づくこともあるようなので勉強になりました。



<説明風景>
 「河川の危険」についてパネルを使って説明



カワゲラウォッチングの様子



水生生物を観察している様子



水生生物の数を発表している様子

報告様式

土木事務所名 (高山 土木事務所)

土木事務所担当者名	高島 明	内線	382
支援学校名	高山市立北小学校	Tel.	0577-32-0545
担当教員名	東先生		
対象学年	4年生 121名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
22/5	<p>高山市役所(生活環境課)をとおして高山市の小学校で自然について総合学習をする学校がないか探してもらう。</p> <p>総合学習についてカワゲラウォッチングを実施する小学校があるため、同時に河川についても学習できるか検討。</p> <p>高山市立北小学校でカワゲラウォッチング及び河川について総合学習を行うことを決定。</p>	<p>【機関・団体名】 高山市役所 飛騨振興局</p> <p>【連携内容】 開催小学校の決定 道具手配 カワゲラウォッチング説明</p>	
7	7月9日(金) 総合学習を行う。		
8			
9			
10			
11			
12			
23/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課	氏 名	高島 明	内 線	382
支援校名	高山市立北小学校	担当教員名	東先生	対象学年	4年生

【事例概要】

7月9日(金) 14:10～15:40 総合学習
 学習場所: 高山市桐生町1丁目 万人橋付近(宮川)
 「カワゲラウォッチング」
 「河川の危険について」

【工夫した点、苦労した点】

人数が多いことからパネルが遠かったり反射したりして見えないため、パネルを持って移動したり繰り返し説明し理解してもらおうとしました。

川の水深が深い場所はスタッフが注意するなど、近寄らせないようにしました。

【子供達の反応】

晴れた日の川と大雨の日の川の違いについて写真を見せて説明しましたが、同じ河川であることに驚いている様子でした。

大雨が降ったあとは河川に近づかないようにすることが分かってもらえたと思います。

カワゲラウォッチングでは、事前に勉強してきているようで理解が出来ている様子でした。網などを使い水生生物をうまく捕まえることができていました。

また、宮川は汚い水に住む生物もいますが、きれいな水に住む生物も生息していて川としてはきれいな分類になることが確認出来たようです。

【今後の課題・課題への提案】

河川は子供たちが遊んでいたりと、親しみがあるため危険性をもっと理解してもらう必要があります。

水生生物の判別に苦労するため事前により多くの生物を調べておく必要があります。

【担当者として】

子供達が川について考えるきっかけになったのではないかと思います。

身近にある川が汚れていることは、いけないことだと思ってもらえたので、これからも川を汚さないように気をつけてもらえるのではないかと思います。



<説明風景>

「河川の危険」についてパネルを使って説明



カワゲラウォッチングを説明



カワゲラウォッチングの様子



水生生物を観察している様子

報告様式

土木事務所名 (古川 土木事務所)

土木事務所担当者名	葛口 利貴	内線	263
支援学校名	飛騨市立古川西小学校	Tel.	0577-73-2229
担当教員名	田中先生・酒井先生・北原先生		
対象学年	4年生 57名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
22/ 4		【機関・団体名】	
5		【連携内容】	
6	6月14日(月) 担当教員と学習内容の打ち合わせ		
7	7月2日(金) 15:00～15:45 学習場所:飛騨市立古川西小学校特別活動教室 学習内容:パックテストの原理と使い方		
8	7月8日(木) 9:30～10:30 学習場所:宮川河川敷 学習内容:パックテストによる宮川の水質評価		
9			
10			
11			
12			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	葛口 利貴	内 線	263
支援校名	飛騨市立古川西小学校	担当教員名	田中・酒井・北原先生	対象学年	4年生

【事例概要】

日時:7月8日(木)9:30~10:30

場所:古川西小学校(宮川河川敷)

内容:水質調査(パケットテスト)

対象の4年生は「環境」をテーマに総合学習を実施しており、「川の水の汚れ」について学習している。本事例では、学校に隣接した宮川において、川の水の汚れ具合を判断しその原因や対策を考えるという流れのうち、汚れの判断指標の一つとしてパケットテストを用いた宮川の水質評価を行った。土木事務所職員は、パケットテスト資材の提供を含んだ事前準備及び当日の安全確保や試験の補助を行った。

【工夫した点、苦労した点】

- ・事前に授業を行い、生徒にパケットテストの結果と水質の関係を理解してもらえよう配慮した。
- ・試薬は一人に一つずつ配布し、各自で採水するなど自分で考えて結論を出せるようにした。

【子供達の反応】

- ・一人一つずつ試薬を配布したことにより、興味を持って試験を行っていた。
- ・パケットテストの結果について児童同士で話し合い、結果の考察を行っていた。

【学校関係者からの意見】

- ・資材および人員等を提供していただき、非常にありがたい。学校単独では実施できない授業を実施することができた。

【今後の課題・課題への提案】

- ・パケットテストは採取する場所によって結果のばらつきも大きく、結果をどう解釈するのが難しい。
- ・パケットテスト以外の水質項目と併せて水質評価を行うことが必要であると感じた。

【担当者として得たもの】

- ・児童同士で興味深くパケットテストの結果を話している姿を見て、宮川の水質に対しての関心の高さを感じた。



・パケットテストの練習 (7月2日実施)
事前に水道水を用いてパケットテストの練習を行った。



・判定時の状況
標準色シートと比較して概算COD値を判別する。
結果の判断に職員が助言を行った。



・結果についての総括
児童が行ったパケットテストの結果をもとに職員が結果の総括を行った。

報告様式

土木事務所名 (古川 土木事務所)

土木事務所担当者名	葛口 利貴	内線	263
支援学校名	飛騨市立古川西小学校	Tel.	0577-73-2229
担当教員名	田中先生・酒井先生・北原先生		
対象学年	4年生 57名		
年月	タイムテーブル		学校以外の連携機関
22/ 4			【機関・団体名】
5			
6			【連携内容】
	6月14日(月) 担当教員と学習内容の打ち合わせ		
7			
8			
9	9月8日(木) 14:00～14:40 学習場所:飛騨市立古川西小学校特別活動教室 学習内容:ヒメシロチョウに関する授業		
10	9月30日(金) 学習場所:宮川堤防 学習内容:ヒメシロチョウの観察(カワゲラウォッチング実施時に宮川堤防で短時間の観察を行った。)		
11			
12			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	葛口 利貴	内 線	263
支援校名	飛騨市立古川西小学校	担当教員名	田中・酒井・北原先生	対象学年	4年生

【事例概要】

日時:9月8日(木)14:00~14:40
 場所:古川西小学校特別活動教室
 内容:ヒメシロチョウに関する授業

飛騨市古川町下野地区(古川西小学校付近)の宮川堤防には、環境省・岐阜県のレッドデータブックに記載されている「ヒメシロチョウ」が生息している。全国的に個体数を減らしており、岐阜県内でもこの地区にしか生息していない。郷土の豊かな自然環境を実感してもらうため、ヒメシロチョウの生態に関する授業を実施した。

土木事務所職員が現在の環境問題やヒメシロチョウの生態、またヒメシロチョウの餌となるツルフジバカマについて教室内で授業を行った。

【工夫した点、苦労した点】

- ・事前授業では、PPTを用いヒメシロチョウや環境問題について解説し、観察のポイントなどを説明した。
- ・郷土に素晴らしい自然環境が残っているということを生徒に気がついてもらうために、身近な希少種であるヒメシロチョウを題材として取り上げた。
- ・ヒメシロチョウやツルフジバカマの特定に苦労した。

【子供達の反応】

・当初予定していた現地観察が降雨により実施できず、後日に短時間の観察しか行えなかった。外に出での観察が行えないことを残念がる児童がみられた。

【今後の課題・課題への提案】

・ヒメシロチョウは季節・天候等によっては観察できない場合があるため、実施日の設定に注意する必要がある。

【担当者として得たもの】

・児童と一緒にヒメシロチョウやツルフジバカマの観察を行い、地域の貴重な自然環境について再認識した。



・ヒメシロチョウ説明パネル
 観察会の前にヒメシロチョウとツルフジバカマが認識できるようにしておいた。



・観察会前の説明状況
 PPTを用いてヒメシロチョウの生態や特徴などを説明



・現地でのヒメシロチョウ観察 (9月30日実施)
 当日は残念ながらヒメシロチョウは確認できず、ヒメシロチョウの餌であるツルフジバカマのみ確認できた。

報告様式

土木事務所名 (古川 土木事務所)

土木事務所担当者名	葛口 利貴	内線	263
支援学校名	飛騨市立古川西小学校	Tel.	0577-73-2229
担当教員名	田中先生・酒井先生・北原先生		
対象学年	4年生 57名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
22/ 4		【機関・団体名】	
5			
6		【連携内容】	
	6月14日(月)担当教員と学習内容の打ち合わせ		
7	7月2日(金) 15:00～15:45 学習場所:飛騨市立古川西小学校特別活動教室 学習内容:カワゲラウォッチングによる水質評価		
8			
9			
	9月30日(金) 9:30～11:20 学習場所:宮川河川敷 学習内容:カワゲラウォッチング		
10			
11			
12			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	葛口 利貴	内 線	263
支援校名	飛騨市立古川西小学校	担当教員名	田中・酒井・北原先生	対象学年	4年生

【事例概要】

日時:9月30日(木)9:30~11:20

場所:古川西小学校(宮川河川敷)

内容:水質調査(カワゲラウォッチング)

対象の4年生は「環境」をテーマに総合学習を実施しており、「川の水の汚れ」について学習している。本事例では、学校に隣接した宮川において、川の水の汚れ具合を判断しその原因や対策を考えるという流れのうち、汚れの判断指標の一つとしてカワゲラウォッチングを実施したものである。

土木事務所職員は、事前に座学によるカワゲラウォッチングの説明、当日の河川内での生物捕獲作業の補助及び安全確保を担当した。

【工夫した点、苦労した点】

- ・事前に授業を行い、カワゲラウォッチングの意味を理解してもらえよう配慮した。
- ・児童のみでも生物の特定が行えるように特定用の資料を配布した。

【子供達の反応】

- ・積極的に授業に参加し、様々な生物を採取することに夢中であった。
- ・採取した生物に対して、“何という名前の生物か” “どのような水質の場所にすんでいるのか”等の活発な質問が多数出された。

【学校関係者からの意見】

- ・資材および人員等を提供していただき、非常にありがたい。学校単独では実施できない授業を実施することができた。

【今後の課題・課題への提案】

- ・降雨の影響で予定していた実施日に実施できないことがあった。多少の降雨があっても実施が可能な場所の選定が必要であると感じた。

【担当者として得たもの】

- ・採取された生物に対して様々な質問があり、児童の生物に対する興味の高さを感じた。



授業の様子 (7月2日実施)

カワゲラウォッチングの結果と水質の関係に関する事前の授業を行った。



・採取の様子

職員が河川内から採取した石を用いて、児童が生物の採取を行った。



・観察の様子

生物の特定は事前に配布した資料をもとに行った。特定に関しては職員が助言を行った。

報告様式

土木事務所名 (古川 土木事務所)

土木事務所担当者名	葛口 利貴	内線	263
支援学校名	飛騨市立古川西小学校	Tel.	0577-73-2229
担当教員名	田中先生・酒井先生・北原先生		
対象学年	4年生 57名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
22/ 4		【機関・団体名】	
5		【連携内容】	
6			
7			
8			
9			
10	10月7日(木)担当教員と学習内容の打ち合わせ		
11	10月29日(金) 15:00~15:45 学習場所:飛騨市立古川西小学校特別活動教室 学習内容: これまでの学習内容のまとめ		
12	環境と開発について		

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	葛口 利貴	内 線	263
支援校名	飛騨市立古川西小学校	担当教員名	田中・酒井・北原先生	対象学年	4年生

【事例概要】

日時: 10月29日(金)15:00~15:45

場所: 古川西小学校特別活動教室

内容: これまでの学習内容のまとめ
環境と開発について

これまでに行ってきたバックテスト・カワゲラウォッチング・ヒメシロチョウ観察の結果を総合し宮川周辺の環境に関する総評を行った。

河川・砂防工事等の土木事務所が行う事業についても説明を行い、これらの工事が自然環境に与える影響についての説明も行った。

【工夫した点、苦労した点】

- ・児童に理解してもらえるように分かりやすい言葉での説明を心がけた。
- ・児童に土木事務所の事業が必ずしも自然環境に対して良い影響を与えないということ、その上で自然環境に配慮した工法を採用しているということを理解してもらうことに苦労した。

【子供達の反応】

- ・宮川周辺の自然環境について理解できたという意見を児童よりもらった。
- ・河川・砂防工事が自然環境に与える影響については、どのようにすればその影響が小さくなるのかという質問が多数出された。

【学校関係者からの意見】

- ・今年度実施した総合学習は学校単独で実施することは難しく、来年度以降も実施してもらいたい。

【今後の課題・課題への提案】

- ・授業の後半になると集中が切れてしまう児童がみられた。座学だけの授業ではいかに児童を授業に参加させるかが重要であると感じた

【担当者として得たもの】

- ・分かりやすい資料作りおよび話し方等を身につける必要性を感じた



・授業の様子



・授業の様子

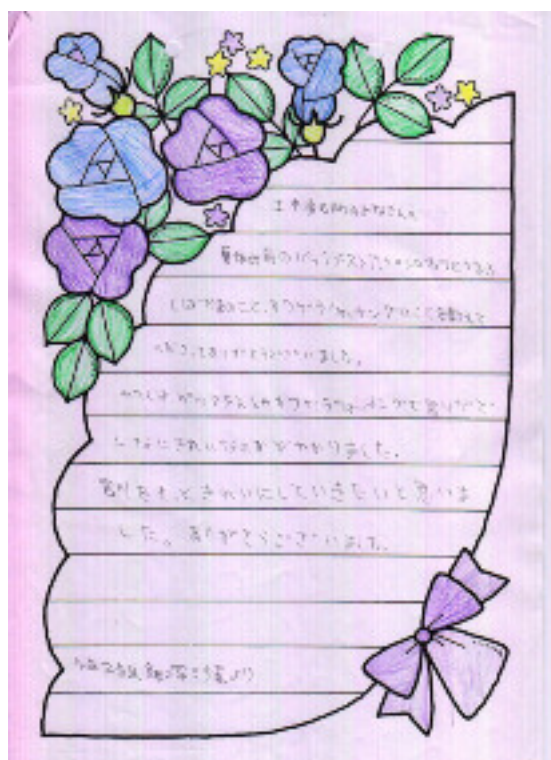
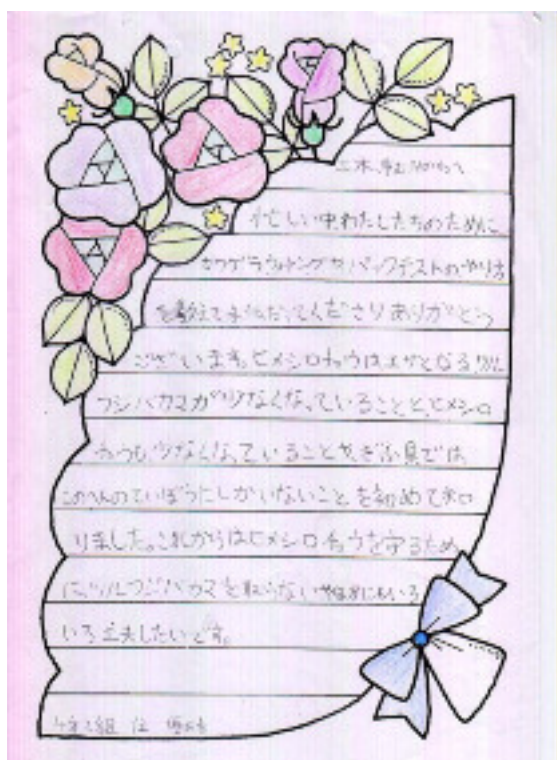
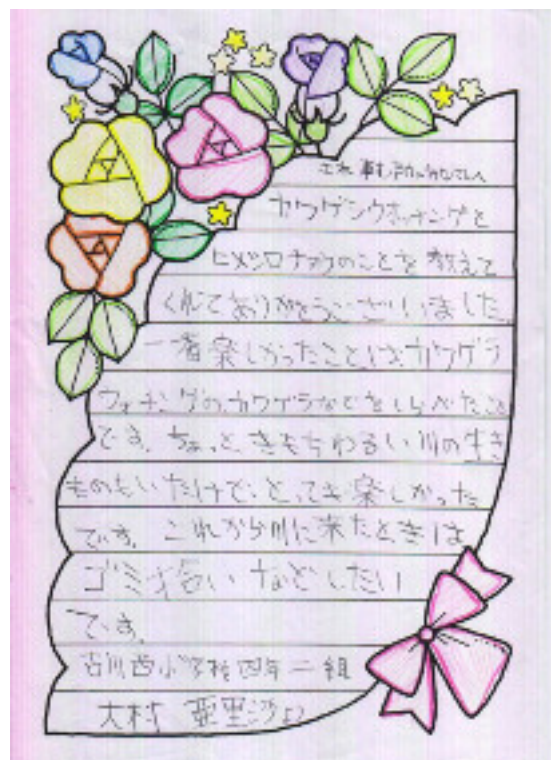


・授業の様子

授業の最後に質問時間を設けた。鋭い質問が多数出された。

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	葛口 利貴	内 線	263
支援校名	飛騨市立古川西小学校	担当教員名	田中・酒井・北原先生	対象学年	4年生

【新聞記事等】

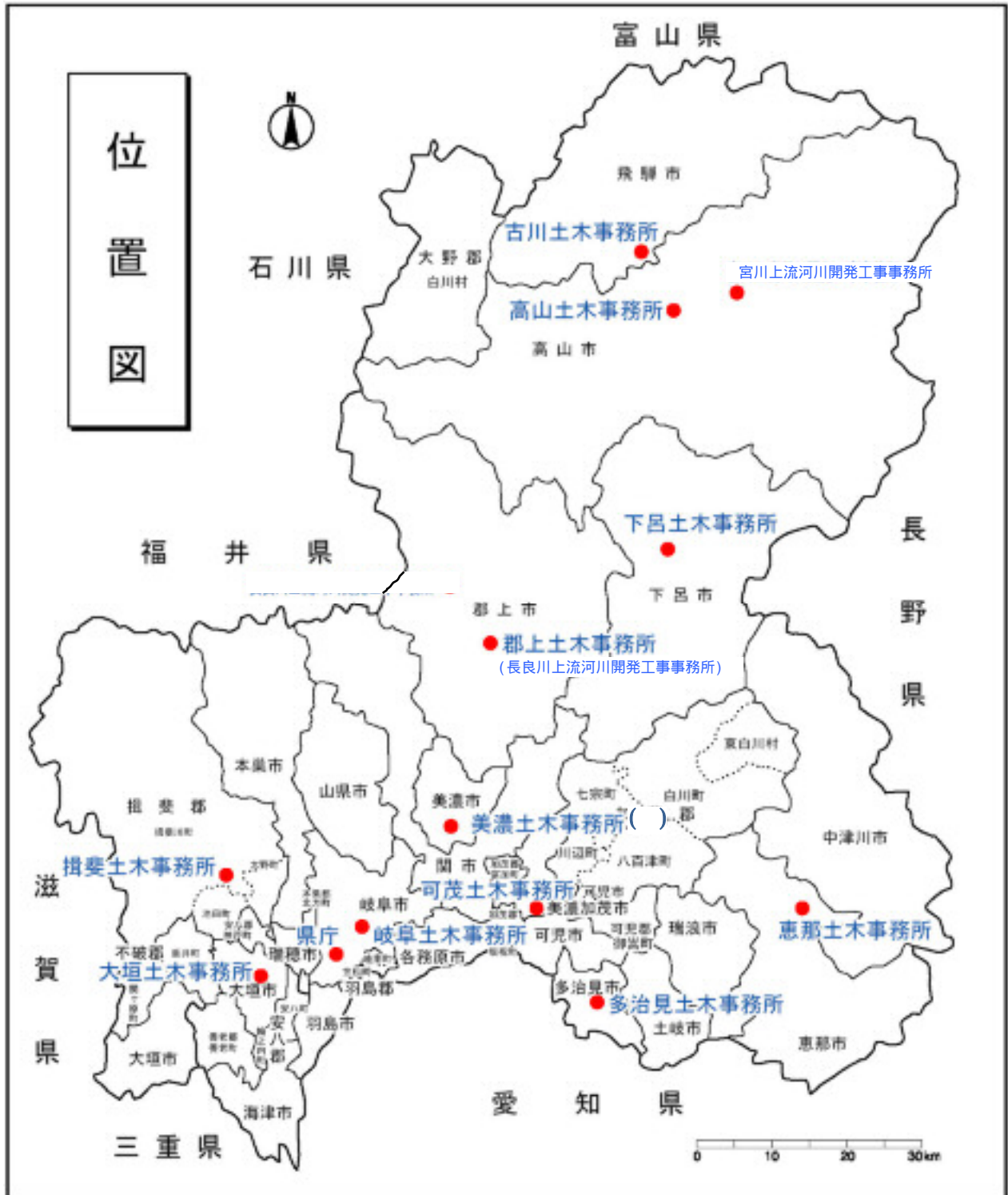


児童の皆さんからお礼のお手紙をいただきました。

支援窓口一覧表

岐阜県管内図

平成23年3月31日現在



美濃土木事務所は、平成23年4月1日より、中濃農林事務所と統合し、「中濃基盤整備事務所(仮称)」となる予定。

				平成23年3月31日現在
所属	課、担当	TEL	所管市町村名	所在地
		FAX		
県土整備部	河川課	058-272-1111	県下全域	〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1 岐阜県庁内
		058-278-2753		
県土整備部	砂防課	058-272-1111	県下全域	〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1 岐阜県庁内
		058-278-2755		
岐阜土木事務所	河川砂防課 河川第一担当	058-264-1111	岐阜市(北部)、山県市、瑞穂市、本巣市、北方町	〒500-8708 岐阜市司町1 岐阜総合庁舎内
	河川砂防課 河川第二担当		岐阜市(南部)、羽島市、各務原市、岐南町、笠松町	
	河川砂防課 砂防担当	058-264-8087	岐阜市、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、 岐南町、笠松町、北方町	
大垣土木事務所	河川砂防課 河川担当	0584-73-1111	大垣市、垂井町、関ヶ原町、神戸町、安八町、輪之内 町、海津市、養老町	〒503-0838 大垣市江崎町422-3 西濃総合庁舎内
	河川砂防課 砂防担当	0584-82-4960		
揖斐土木事務所	河川砂防課	0585-23-1111	揖斐川町、大野町、池田町	〒501-0603 揖斐郡揖斐川町上南方1-1 揖斐総合庁舎内
	河川砂防担当	0585-23-1105		
美濃土木事務所 ()	河川砂防課	0575-33-4011	関市、美濃市	〒501-3756 美濃市生櫛 1612-2 中濃総合庁舎内
	河川砂防担当	0575-33-4901		
郡上土木事務所	河川砂防課	0575-67-1111	郡上市	〒501-4292 郡上市八幡町初音1727-2 郡上総合庁舎内
	河川砂防担当	0575-65-4966		
可茂土木事務所	河川砂防課	0574-25-3111	美濃加茂市、可児市、坂祝町、富加町、川辺町、七宗 町、八百津町、白川町、東白川村、御嵩町	〒505-8508 美濃加茂市古井町下古井 2610-1 可茂総合庁舎内
	河川砂防担当	0574-25-0355		
多治見土木事務所	河川砂防課	0572-23-1111	多治見市、土岐市、瑞浪市	〒507-8708 多治見市上野町5-68-1 東濃西部総合庁舎内
	河川砂防担当	0572-25-7224		
恵那土木事務所	河川砂防課 河川担当	0573-26-1111	中津川市、恵那市	〒509-7203 恵那市長島町正家後田1067- 71 恵那総合庁舎内
	河川砂防課 砂防担当	0572-26-0417		
下呂土木事務所	河川砂防課	0576-52-3111	下呂市	〒509-2592 下呂市萩原町羽根2605-1 下呂総合庁舎内
	河川砂防担当	0576-52-1948		
高山土木事務所	河川砂防課	0577-33-1111	高山市(旧国府町、上宝村を除く)、白川村	〒506-8688 高山市上岡本町7-468 飛騨総合庁舎内
	河川砂防担当	0577-33-1086		
古川土木事務所	河川砂防課	0577-73-2911	飛騨市、高山市(旧国府町、上宝村)	〒509-4263 飛騨市古川町上野617-1
	河川砂防担当	0577-73-3346		

美濃土木事務所は、平成23年4月1日より、中濃農林事務所と統合し、「中濃基盤整備事務所(仮称)」となる予定。

平成22年度版 川を題材とした
総合的な学習の時間活動事例集

平成23年3月発行

編集・発行 岐阜県県土整備部河川課・砂防課

〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1

T E L 058-272-1111 (代表)

F A X 058-278-2753 (河川課)

U R L <http://www.pref.gifu.lg.jp/kendo/michi-kawa-sabo/kasen/>

M A I L c11652@pref.gifu.lg.jp (河川課)

協 賛 岐 阜 県 河 川 協 会
岐 阜 県 砂 防 協 会